

14.21

574

14. 21-574



1200501162580

福井縣立種畜場業務功程報告書

福井縣立種畜場發行

昭和十一年度



始



142
574

昭和拾壹年度

業務功程報告書

福井縣立種畜場

昭和拾壹年度福井縣立種畜場業務功程報告書目次

第一章 總說.....一

一、沿革.....一

二、位置.....二

三、用地.....二

四、氣象.....三

五、營造物.....三

六、業務ノ概況.....四

第七章 畜種ノ概況.....五

一、畜種ノ概況.....五

二、畜種ノ概況.....五

三、畜種ノ概況.....五

四、畜種ノ概況.....五

五、畜種ノ概況.....五

六、畜種ノ概況.....五

七、畜種ノ概況.....五

八、畜種ノ概況.....五

九、畜種ノ概況.....五

十、畜種ノ概況.....五

十一、畜種ノ概況.....五

十二、畜種ノ概況.....五

十三、畜種ノ概況.....五

十四、畜種ノ概況.....五

十五、畜種ノ概況.....五

十六、畜種ノ概況.....五

十七、畜種ノ概況.....五

十八、畜種ノ概況.....五

十九、畜種ノ概況.....五

二十、畜種ノ概況.....五

一、泌乳調査表.....二

二、生産牛乳ノ處理.....三

三、産牛發育調査表.....三

四、豚.....三

一、豚現在表頭數.....三

二、種 牝 豚.....三

一、種 牝 豚.....三

二、種 牝 豚.....三

三、種 牝 豚.....三

四、種 牝 豚.....三

五、種 牝 豚.....三

六、種 牝 豚.....三

七、種 牝 豚.....三

八、種 牝 豚.....三

九、種 牝 豚.....三

十、種 牝 豚.....三

十一、種 牝 豚.....三

十二、種 牝 豚.....三

十三、種 牝 豚.....三

十四、種 牝 豚.....三

十五、種 牝 豚.....三

十六、種 牝 豚.....三

十七、種 牝 豚.....三

十八、種 牝 豚.....三

十九、種 牝 豚.....三

二十、種 牝 豚.....三



二、種鶏拂下表……………三三
 ホ、種鶏年齢別拂下表……………三三
 ヘ、累年種鶏拂下比較表……………三三
 ト、種鶏拂下出願數ニ對スル配付數……………三三
 チ、種卵拂下數……………三四
 リ、産卵調査表……………三四
 ヌ、最近五ヶ年間産卵成績表……………三六
 ル、産卵能力調査鶏成績表……………三六
 オ、人工孵化成績表……………三七
 ワ、育雛概要……………三七
 カ、第二回福井縣産卵能力檢定……………三八
 コ、第三回福井縣産卵能力檢定……………三九
 ク、委託種禽育成所……………三九
 第三章 飼養管理……………三九
 一、飼養……………三九
 一、飼養……………三九
 イ、犢ノ育成……………三九
 ロ、畜牛飼料給與標準……………三九
 ハ、種豚飼料配合表……………三九
 ニ、種鶏飼料配合表……………三九
 ホ、育雛飼料配合表……………三九

ヘ、飼料ノ購買及消費……………三九
 二、管 理……………三九
 第四章 乳肉加工……………三九
 一、乳 加 工……………三九
 イ、バター製造……………三九
 ロ、乳製飲料製造……………三九
 二、豚肉加工……………三九
 第五章 試験及調査……………三九
 一、畜牛肥育試験……………三九
 一、目 的……………三九
 二、供 用 牛……………三九
 三、飼 養……………三九
 四、管 理……………三九
 二、稻作厩肥試験……………三九
 三、鶏体量ト産卵トノ關係調査……………三九
 第六章 埋糞飼料ノ調製……………三九
 第七章 耕 作……………三九
 一、農場經營ノ概況……………三九
 二、飼料作物ノ栽培……………三九
 イ、飼料作物栽培成績……………三九

口、牧草收穫表……………九八
 ハ、農場作業使用人員月別表……………九九
 第八章 指導獎勵……………九九
 一、質疑應答及講習講話……………九九
 第九章 庶務及會計……………九九
 一、經 費……………九九
 二、場 員……………九九
 一、職 員……………九九
 口、備 員……………九九
 ハ、職員及備員異動……………九九
 三、職員出張……………九九
 (イ)縣 内……………九九
 四、參觀人員……………九九
 五、文書發收件數……………九九
 附 録……………九九
 福井縣立種畜場職制……………九九
 福井縣立種畜場處務規程……………九九
 福井縣立種畜場處務細則……………九九
 種豚種禽種卵配付規程……………九九
 種豚種禽種卵配付價格……………九九

種牡牛種付規程……………九九
 候補種牡牛拂下規程……………九九
 委託種禽育成所規程……………九九
 産卵能力檢定規程……………九九
 備員心得……………九九

昭和十一年度福井縣立種畜場業務功程報告書

第一章 總說

一、沿革

本縣畜産ノ起源ハ文獻ニ徴スヘキモノナク其由來ヲ知ル能ハスト雖氣候中和ニシテ地味豊饒加之山河ノ配置宜シキヲ得テ芻草ノ繁茂夥シキカ故ニ昔日ヨリ養畜ノ業行ハレタルヤヲ想起セシムルモノアリ明治ノ初年土産牛ノ体格矮小品位劣惡ナルヲ慨スル人士等ニヨリテ短角種及「ホルスタイン」種牝牛ノ購入ヲナシ銳意畜牛ノ改良ニ努メタリト雖一進一退成績ノ見ルヘキモノナクシテ徒ラニ悲境ヲ辿ルニ過キサリキ明治三十三年以來縣費ヲ以テ「ホルスタイン」種牝牛ヲ購入シテ乳用種ノ改良ニ努ムルト共ニ一面ニハ又使役ヲ專ラトスル地方ニ對シテハ在來種牛ノ特質美點ヲ尊重シテ改良増殖ヲ圖レリ

爾來幾星霜回ヲ重ネテ實驗シ乳用種牛ニアリテハ「ホルスタイン」種ヲ以テ最モ氣候風土ニ適應シ役用牛ニアリテハ改良和種ヲ其ノ用途ニ充ツルヲ以テ最モ良策ナルモノトシ愈々方針ヲ定メテ邁進セリ

養鶏養豚ニアサテハ佛敎ノ盛ンナル關係上飼養尠ク他府縣ニ比シ著シキ遜色アリタルモ縣當局ハ之レカ飼養ノ獎勵ニ努メタル結果漸次其數ヲ増シ數倍ノ増加ヲ算スルニ至レリ既往ノ狀態ハ大略以上ノ如クナルモ時代ノ趣移ハ益々乳肉卵ノ需要ヲ加ヘ併テ家畜家禽ヲ加味セル農家ハ農業經營ヲ合理化スル上ニ於テ最緊要ナル事業ナルヲ以テ之レカ範ヲ示シ實地指導ノ機關タラシムルト共ニ種畜種禽ノ配付ヲ普カラシメントシテ茲ニ當場ノ設立ヲ企圖スルニ至レリ

設立ニ要セシ經費豫算ハ之レヲ大正十一年度通常縣會ニ提出シタルニ最モ意義アル施設トシテ熱誠ナル協賛ヲ得即チ十一年度ヨリ三ヶ年繼續ヲ以テ新設スルコトトシ農商務省亦十一年三月二十四日附ヲ以テ設立ノ認可ヲ與ヘラレタリ而シテ同年四月場長ノ任命ト共ニ仮事務所ヲ縣廳内ニ設ケ翌十二年十月事務所ノ竣工ト共

ニ移轉今日ニ及ヘリ

二、位 置

縣廳及福井驛ヨリ東方約三、四町ニ位シ道路ハ縣道ニシテ極メテ平坦且ツ荒川ト稱スル河川ハ本場ヲ圍繞シ福井市ノ中央ヲ貫通スル足羽川ニ通スル等能ク舟車ノ便ヲ有セリ土地高燥豐饒ニシテ從來主トシテ蔬菜ノ栽培ヲ行ヒタル畑地ト梨園ヲ開拓シテ設置セシモノニシテ水質良好飲料ニ適ス圓山ノ丘陵ハ指顧ノ間ニ展望シ遙カニ望メハ加賀白山ノ秀嶺雲煙ノ間ニ横タハリ望涯ノ風光雄大明媚ナルノ地ナリ

三、用 地

用地ハ總面積僅カニ三七五、六アールナルヲ以テ事業ノ施行上常ニ集約的ナル利用方法ヲ研究シ其ノ範ヲ示セリ而シテ土地利用ノ區分ヲ示セハ左ノ如シ

- 建 物 敷 地 五、五アール
- 家畜家禽舍附屬運動場 三、六アール
- 牧 草 栽 培 地 一、二、〇アール
- 通 路 及 耕 作 路 一、九、四アール
- 耕 作 地 一、四、一、一アール
- 水 田 二、〇、〇アール

四、氣 象

夏季ハ風位概ネ北風又ハ南風ニシテ攝氏二十八度ヨリ三十三、四度ノ間ヲ昇降ス冬季ハ風位概ネ北西ニシテ氣温ハ攝氏二度ヨリ零下四度ノ間ニアリテ初霜ハ十一月初メヨリ晚霜ハ四月上旬ニ及ビ降雪ハ十一月下旬ナルモ積雪ニ至ラスシテ多クハ十二月又ハ一月ニ入りテ尺餘ニ及フヲ普通トセルモ本年ハ比較的薄雪ナリキ

五、營 造 物

名 稱	棟 數	構 造	坪 數
事務所及講議室	一	木造瓦葺二階建	五三、〇〇
牛 舍	二	木造瓦葺平屋	八二、〇〇
豚 舍	二	木造亞鉛葺平屋	一八、〇〇
厩 舍	一	木造瓦葺平屋	三九、二〇
厩 舍	一	木造瓦葺平屋	五、〇〇
堆 肥 舍	一	木造板葺平屋	四、五〇
衡 量 場	一	木造亞鉛葺平屋	三、〇〇
乳 加 工 室	一	〃	一三、〇〇
肉 加 工 室	一	〃	一〇、〇〇
雞 舍	三	木造瓦葺平屋 木造亞鉛葺平屋	三五、七五 三三、七五
孵卵舍及第一育雛舍	一	木造瓦葺平屋	二〇、〇〇
第二育雛舍	一	木造亞鉛葺平屋	八、〇〇
單 雞 舍	三	〃	九、〇〇

水	禽	舍	一	木造亞鉛葺平屋	七、五〇
舍	宅	二棟 四戸分		木造瓦葺平屋	六一、〇〇
收	納	所	一	木造亞鉛葺二階建	二〇、〇〇
サ	イ	ロ	一	コンクリート建	
井	戸		五	堀 抜	

六、業務ノ概況

本年度ニ於テ行ヒタル事業ノ項目左ノ如シ

- 一 種牛ノ蕃殖並育成
- 二 種牡牛ノ種付
- 三 牛酪及乳製飲料製造試験
- 四 候補種牡牛ノ拂下
- 五 畜牛肥育試験
- 六 生産犢ノ發育調査
- 七 種豚ノ蕃殖並育成
- 八 候補種豚ノ配付
- 九 豚肉加工試験
- 一〇 種鶏孵化並育雛

- 二 種禽種卵ノ配付
- 三 種鶏産卵能力調査
- 三 依頼鶏産卵能力検定
- 四 委託種禽育成所監督並指導
- 五 飼料作物ノ栽培
- 六 厩肥効試験
- 七 畜産ニ關スル講習講話實地指導並質疑應答
- 八 畜産ニ關スル共進會並品評會ノ審査

第二章 種畜種禽

一 畜 牛

當場ニ於テハ本縣産牛ノ改善ヲ圖ラムカ爲乳用種ニアリテハ「ホルスタイン」種役肉用種ニアリテハ改良和種ヲ飼養蕃殖シ種牡牛ハ場内種牝牛ノ種付ヲ行ヒシ外民間ノ希望ニ應シ餘勢種付ヲ行ヒタリ
 産犢中牝ハ當場ニ繋留シ育成ノ上改良蕃殖ノ原種トナシ牝ハ体格發育及資質等ヲ考査ノ上候補種牝牛拂下規程ニ依リ拂下ヲ行ヒタリ
 生産牛乳ハ犢育成ニ使用シ殘餘ハ其大部分ヲ「バター」製造其ノ他ノ加工試験ニ供シ一部ハ生乳ノ儘之ヲ拂下ケタリ

一 畜牛繋養頭數

(年度末現在)

一種 牝 牛

三 頭

名	種	生年月日	毛色	産地	登録番	血	統
第二インカスツシー オームスビー	ホルスタ イン種	昭和 七、二、一七	黑白班	當場	中畜 第七〇三號	父インカサード 母第三スツシー	第二インカスツシー オームスビー
サード デーリリーメード	同	昭和 九、一、二五	白黒班	同	中畜 第二九四號	父第十五サード 母スターフェイス	サード デーリリーメード
日下	改良和種	昭和 九、四、二六	黒褐色	兵庫縣	美方 第六二號	父福山 母福山	日下

二種 牝牛 十頭

名	種	生年月日	毛色	産地	登録番	血	統
第三スツシー	ホルスタ イン種	昭和 三、七、一七	黑白班	當場	中畜 第二九四號	父第二スツシー 母第三スツシー	第三スツシー
スターフェイス カーネーション	同	昭和 五、二、二二	白黒班	千葉縣	第五四三號	父スターフェイス 母カーネーション	スターフェイス カーネーション
ヘンドリク アーチス	同	昭和 九、二、一〇	同	當場	第六二五號	父インカサード 母グイーマン	ヘンドリク アーチス
ダツチランド スツシー	同	昭和 一〇、一、三〇	黑白班	同	第六二六號	父インカサード 母第二スツシー	ダツチランド スツシー
スターカー ネーション	同	昭和 一〇、七、一七	同	同	第三三二號	父スターフェイス 母カーネーション	スターカー ネーション
スツシー オームスビー	同	昭和 二、一、三	白黒班	石川縣	第四八五號	父第三スツシー 母オームスビー	スツシー オームスビー
ホワイト フロッド	同	昭和 九、六、二〇	褐黒色	岡山縣	第二二號	父大技 母豊姫	ホワイト フロッド
平山	改良和種	昭和 九、六、二〇	褐黒色	岡山縣	第二二號	父大技 母豊姫	平山
第一曉	同	昭和 九、六、二〇	同	同	第二五號	父藤花 母第二谷宗	第一曉

三候 補種 牝牛

名	種	生年月日	毛色	産地	血	統
出雲五世	同	昭和 九、二、二三	黒色	當場	父第二十大鳳 母出雲四世	出雲五世
濱村	同	昭和 一〇、一〇、三	褐黒色	大飯 第一號	父吉野 母村甲	濱村
第二十二大鳳	改良和種	昭和 一〇、二、二六	黒色	當場	父第二十大鳳 母出雲四世	第二十二大鳳

四續 牛

名	種	生年月日	毛色	産地	血	統
スツシー プリリースター	ホルスタ イン種	昭和 二、二、二六	黑白班	當場	父サード 母第三スツシー	スツシー プリリースター
ヘンドリク アーチス	同	昭和 三、一、一六	白黒班	同	父サード 母ヘンドリク	ヘンドリク アーチス
第一福姫	改良和種	昭和 二、二、二六	黒褐毛	同	父平山 母第一曉	第一福姫
第二日下	同	昭和 三、三、三	同	同	父日下 母第一曉	第二日下

口畜 牛 異動表

名	種	性	生年月日	毛色	産地	移動年月日	事由
名	種	性	生年月日	毛色	産地	移動年月日	事由

八	濱	村	號	改良和種	牝	昭和 一〇、一〇、三	褐黒色	福井縣	昭和 二、四、一	大飯郡ヨリ購入
八	ヘンドリク	アーチス	號	改良和種	牝	昭和 九、三、一〇	白黒班	當場	昭和 一、六、一〇	生産牛ヨリ種牝牛ニ編入
八	雲	號	改良和種	牝	昭和 一、六、三	黒色	同	生産	昭和 一、六、三	生産
	ダツチ	ランド	スツシー	號	改良和種	昭和 一〇、一、三〇	黒白班	同	昭和 二、七、三〇	生産牛ヨリ種牝牛ニ編入
	第四	インカ	スツシー	號	同	昭和 九、一、二六	同	同	昭和 二、七、三〇	候補種牝牛拂下
	第三	インカ	スツシー	號	同	昭和 九、一、二六	同	同	昭和 二、七、三〇	丹生郡
	デア	マン	チェー	二世	號	大正 一五、六、二	黒白班	同	昭和 二、二、二六	候補種牝牛拂下
	第一	福	姫	號	改良和種	昭和 二、二、二六	黒褐色	同	昭和 二、二、二六	縣ヨリ保管轉換廢用賣拂
	ス	ター	カー	ネー	シヨン	同	同	同	昭和 一、一、二八	生産
	ス	ツ	シー	オー	ム	ス	ピー	同	昭和 二、二、二六	生産
	ス	ツ	シー	ブ	リ	リ	スター	號	昭和 二、二、二六	生産
	ヘ	ンド	リ	ク	ブ	リ	リ	アー	チ	ス
	第	二	日	下	號	改良和種	同	同	昭和 三、三、三	生産
	ホ	ウ	イト	ロ	イ	フレ	ッド	號	昭和 二、一、三	石川縣川西粟津牧場ヨリ購入
八	雲	號	改良和種	牝	昭和 一、六、三	黒色	當場	昭和 三、二、四	吉田郡へ拂下	

八月別畜牛延飼養頭數表

月別	區分		ホルスタイン種		改良和種		肥育牛	合計
	種牝牛	種牝牛	種牝牛	種牝牛	種牝牛	種牝牛		
四月	六〇	六〇	六〇	九〇	三〇	三〇	一八〇	四五〇
五月	六二	六二	六二	九三	三一	三一	一八六	四六五
六月	六〇	八一	六〇	七九	三〇	三〇	一八九	四六九
七月	六二	九五	六一	六〇	三一	三一	二一七	四九五
八月	六二	二二四	七	三二	三一	三一	二一七	四四一
九月	八五	二二〇	一	三〇	三一	三一	二一〇	四九〇
十月	九三	二二四	一	三一	三一	三一	二一七	五五八
十一月	九〇	二二〇	一	三〇	三一	三一	二一三	五四三
十二月	九〇	二四八	一	三〇	三一	三一	二四五	六〇九
一月	六二	一五五	一	五七	三一	三一	二四五	五五〇
二月	五六	一四〇	一	五六	二八	二八	一九九	四七九

三月	六二二五五	一	八二二九九	三一	九三	三一	九二二四六	一〇	五五五
計	八四四一、三四二五〇六六二	三、一四〇三六五	一、〇九三三六五	七四二二、五五四〇〇	六、一〇四				

ニ種牝牛種付成績表

種別	種名	種號	種牝牛名	種付回数	最終種付年月日	備考
ホルスタイン種	第三スツシー號		サープリリースター デーリースター	二	昭和 二、二、二五	妊娠中
同	スターフイフス カーチンアチス號		第二インカスツシー オームスビー號	四	昭和 二、三、二四	妊娠不明
同	ヘンドリックアチス號		サープリリースター デーリースター	二	昭和 二、三、二五	同
同	ダッチランドスシシー號		サープリリースター デーリースター	三	昭和 二、九、二九	妊娠中
同	スターカーネーション スツシーオームスビー號		サープリリースター デーリースター	一	昭和 二、二、二九	同
改良和種	平山號		下號	三	昭和 二、二、二五	同
同	出雲五世號		下號	一	昭和 二、二、二四	妊娠中

ホ種牝牛餘勢種付成績表

供用種別	種名	種號	本年度		前年度		本年度種付頭數	合計
			種付頭數	回數	種付頭數	回數		
ホルスタイン種	第二インカスツシー オームスビー號		一三	一三	三	二	四	九
同	サープリリースター デーリースター		三九	四二	一三	六	一	二
改良和種	日下號		二三	三〇	一	一	二	三
同	蓬萊號		一	一	二	一	一	二
計			七五	八五	一八	九	一	四

泌乳調査表

區分	月別	スターフイフス カーネーションアチス號		第三スツシー號		ヘンドリックアチス號		合計
		總乳量	乳一日最高量	總乳量	乳一日最高量	總乳量	乳一日最高量	
四月		三五、一〇〇	二、五〇〇	一三、七〇〇	五、〇〇〇	一	一	四八四、八〇〇
五月		四〇五、八〇〇	一四、六〇〇	一〇一、四〇〇	四、四〇〇	一	一	五〇八、二〇〇
六月		三五七、九〇〇	一三、七〇〇	七〇、五〇〇	三、〇〇〇	一	一	四二八、四〇〇
七月		三八、八〇〇	一、六〇〇	三、一〇〇	二、二〇〇	一	一	三五九、九〇〇
八月		二九〇、一〇〇	一、二〇〇	一〇〇	二〇〇	一	一	二九〇、三〇〇
九月		二四二、六〇〇	九、一〇〇	一	一	一	一	二四二、六〇〇

月	計	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
計	三、〇一〇、三〇〇	二、四六、七〇〇	二、三三、八〇〇	二、八五、四〇〇	一、九九、二〇〇	五、五、三〇〇	三、三、六〇〇
積補乳量	—	八、七〇〇	八、六〇〇	一〇、一〇〇	九、三〇〇	五、〇〇〇	三、一〇〇
生乳拂下量	二、四四、五〇〇	—	—	一、四九、三〇〇	六、四五、八〇〇	六、六三、三〇〇	六、三六、二〇〇
原料乳量	—	—	—	一、八、七〇〇	二、天、〇〇〇	二、六、〇〇〇	二、五、〇〇〇
其ノ他	一、六〇一、五〇〇	—	—	—	三、四九、九〇〇	六、四四、三〇〇	六、〇七、三〇〇
計	七、〇四六、三〇〇	—	—	四、三四、七〇〇	一、一九四、九〇〇	一、三六二、九〇〇	一、二五九、一〇〇

ト生産牛乳ノ處理

種牝牛三頭ヨリ牛乳生産總量七、〇四六、三〇〇斤ヲ搾取シ之カ處分左ノ如シ

月別區分	積補乳量	生乳拂下量	原料乳量	其ノ他	計
七月	—	—	—	—	三、五九、九〇〇
八月	—	—	—	—	四、八八、四〇〇
九月	—	—	—	—	五、〇八、二〇〇
十月	—	—	—	—	四、八八、四〇〇
十一月	—	—	—	—	四、八八、四〇〇
十二月	—	—	—	—	四、八八、四〇〇
計	—	—	—	—	三、五九、九〇〇

月	計	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
計	五、七七、一〇〇	一、八四、二〇〇	一、三三、一〇〇	一、〇一、六〇〇	一、三三、九〇〇	一、三三、二〇〇	一、九六、六〇〇	三、〇九、三〇〇	三、七九、九〇〇
胸圍	二、二四、五〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—
管圍	三、五、四〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—
胸幅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
腰角幅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
腕幅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
胸深	—	—	—	—	—	—	—	—	—
尻長	—	—	—	—	—	—	—	—	—
體量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
體重	—	—	—	—	—	—	—	—	—

備考 右表中其ノ他トアルハ豚鶏ニ使用及消耗量ヲ含ム

子生産牛發育調査表

(1) ヘンドリックアーチス號

(ホルスタイン種牝 昭和九年十二月十日生)

体各部ノ名稱	体高	十字部高	胸圍	管圍	胸幅	腰角幅	腕幅	胸深	尻長	體量	體重
--------	----	------	----	----	----	-----	----	----	----	----	----

月次及月齢	四月 第一六ヶ月	五月 第一七ヶ月	六月 第一八ヶ月	七月 第一九ヶ月	八月 第二〇ヶ月	九月 第二一ヶ月	第一〇月 第二二ヶ月	第一一月 第二三ヶ月	第一二月 第二四ヶ月	第一三月 第二五ヶ月	第一四月 第二六ヶ月	第一五月 第二七ヶ月
体高	二九、〇	三三、〇	三三、三	三四、三	三五、三	三五、六	三五、九	三六、二	三六、二	三六、二	三六、二	三六、二
十字部高	一三三、二	一三三、五	一三三、五	一三三、八	一三三、四	一三七、四	一三七、七	一三七、七	一三八、〇	一三八、三	一三八、三	一三九、二
胸圍	一六五、九	一六九、五	一七四、五	一七七、〇	一八〇、〇	一八〇、〇	一八〇、〇	一八〇、〇	一八〇、〇	一八〇、〇	一八〇、〇	一八〇、〇
管圍	一七、四	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇
胸幅	四〇、五	四〇、八	四二、〇	四二、六	四二、九	四二、九	四三、五	四三、五	四三、五	四三、五	四三、五	四三、五
腰角幅	四三、八	四四、四	四五、〇	四五、三	四五、三	四六、五	四六、五	四六、五	四八、〇	四九、五	四九、五	五一、四
腕幅	四五、〇	四五、六	四六、二	四六、五	四六、一	四七、一	四七、一	四七、一	四七、四	四七、七	四七、七	四七、七
胸深	六五、一	六六、〇	六六、三	六七、五	六七、五	六七、五	六七、五	六七、五	六七、五	六七、五	六七、五	六七、五
尻長	四五、〇	四六、八	四七、四	四七、四	四七、七	四八、〇	四八、〇	四八、〇	四八、六	四九、二	四九、八	五〇、一
体長	一五〇、〇	一五〇、〇	一五〇、〇	一五〇、〇	一五〇、〇	一五〇、〇	一五〇、〇	一五〇、〇	一五〇、〇	一五〇、〇	一五〇、〇	一五〇、〇
体重	三五、六	三八、二	四〇、〇	四二、五	四三、七	四四、八	四六、五	四七、七	四八、〇	四九、〇	四九、七	五〇、一

(2) ダッチランドスツシー號

(ホルスタイン種牝 昭和十年一月三十日生)

月次及月齢	四月 第一五ヶ月	五月 第一六ヶ月	六月 第一七ヶ月	七月 第一八ヶ月	八月 第一九ヶ月	九月 第二〇ヶ月	第一〇月 第二一ヶ月	第一一月 第二二ヶ月	第一二月 第二三ヶ月	第一三月 第二四ヶ月	第一四月 第二五ヶ月	第一五月 第二六ヶ月
体高	二七、一	二七、二	二七、七	二八、〇	二九、三	三〇、八	三一、一	三一、八	三一、一	三一、四	三一、七	三一、三
十字部高	一三五、九	一三七、一	一三八、七	一三〇、二	一三一、二	一三一、一	一三一、七	一三一、六	一三四、二	一三四、九	一三五、八	一三六、四
胸圍	一五八、七	一六四、三	一六七、四	一七〇、五	一七三、六	一七三、九	一七四、二	一七四、八	一七六、七	一七八、三	一七九、八	一八三、八
管圍	一五、五	一六、五	一七、一	一七、七	一八、三	一八、六	一八、六	一八、六	一八、六	一八、六	一八、六	一八、六
胸幅	三八、一	三八、八	三九、一	三九、四	三九、四	三九、七	四〇、〇	四〇、三	四〇、九	四一、二	四一、五	四二、二
腰角幅	四一、九	四二、二	四二、五	四三、四	四六、五	四六、五	四六、五	四六、五	四七、四	四八、一	四八、四	四九、〇
腕幅	四二、〇	四二、三	四二、六	四三、五	四六、五	四六、五	四六、五	四六、五	四六、五	四六、五	四七、七	四七、七
胸深	六〇、一	六〇、八	六三、六	六四、二	六五、七	六五、七	六五、七	六六、〇	六六、七	六七、五	六七、九	六八、五
尻長	四二、五	四三、四	四四、六	四五、六	四六、五	四六、五	四六、五	四六、五	四八、一	四八、一	四八、四	四八、七
体長	一四一、六	一四一、六	一四一、六	一四一、六	一四一、六	一四一、六	一四一、六	一四一、六	一四一、二	一四一、二	一四一、二	一四一、二
体重	三三、五	三三、〇	三四、〇	三五、七	三七、七	三九、七	四〇、八	四一、四	四二、〇	四二、七	四三、五	四四、二

(3) スターカーネーションスツシーオームス號

(ホルスタイン種 昭和十年七月七日生)

体各部ノ 月次及月齡 名稱	体高	部十字	胸圍	管圍	胸幅	腰角幅	腕幅	胸深	尻長	体長	体重
四月九ヶ月	二七、八	二二、一	一四七、三	一六一	三五、二	三六、二	三四、六	五七、〇	四一、二	二二、一	二二七、五〇〇
五月〇ヶ月	二九、九	二六、二	一五二、九	一七〇	三五、七	三七、二	三七、一	五七、六	四三、四	二二六、〇	二二五、〇〇〇
六月一ヶ月	三三、五	二七、一	一五九、七	一七〇	三七、二	三七、八	三八、三	六〇、五	四四、九	二二八、〇	二六二、五〇〇
七月二ヶ月	三四、〇	二八、七	一六一、二	一七〇	三八、八	三九、七	三九、八	六一、四	四五、九	二三〇、〇	二八三、五〇〇
八月三ヶ月	二七、一	三〇、二	一六五、五	一七〇	四〇、六	四〇、六	四一、一	六一、〇	四六、五	二三六、三	三二五、七五〇
九月四ヶ月	二八、〇	三一、一	一六六、八	一七三	四〇、六	四一、二	四三、四	六一、〇	四七、一	二二七、九	三四二、〇〇〇
第一〇ヶ月	二八、七	三一、八	一六七、四	一七三	四〇、九	四一、九	四三、四	六一、五	四七、四	二二四、六	三六七、五〇〇
第一一ヶ月	二九、六	三二、二	一六九、六	一七三	四一、三	四三、四	四六、五	六一、一	四八、一	二二九、〇	三七五、〇〇〇
第一二ヶ月	三三、八	三三、〇	一七〇、九	一七三	四二、九	四四、九	四七、一	六六、六	四八、四	二二九、三	三七八、七五〇
第一三ヶ月	三三、九	三三、六	一七九、八	一七三	四五、三	四六、五	四七、四	六七、六	四八、八	二二九、六	三八七、七五〇
第一四ヶ月	三三、二	三三、八	一八〇、四	一八三	四五、六	四九、一	四八、一	六八、二	四九、一	二二六、六	三八七、〇〇〇
第一五ヶ月	三三、五	三三、三	一八〇、七	一八六	四六、〇	五〇、二	四八、七	六八、五	四九、八	二二六、三	四四一、七五〇

(4) 第二十二大鳳號

(改良和種 昭和十年二月二十八日生)

体各部ノ 月次及月齡 名稱	体高	部十字	胸圍	管圍	胸幅	腰角幅	腕幅	胸深	尻長	体長	体重
四月四ヶ月	二七、二	二二、八	一五三、五	一七七	三七、五	四〇、三	四〇、三	五七、七	四四、六	二二七、七	二七〇、〇〇〇
五月五ヶ月	二七、八	二三、一	一五三、四	一七七	三七、八	四〇、六	四〇、七	五八、三	四五、九	二二八、六	二八五、〇〇〇
第六月六ヶ月	二八、四	二三、五	一五五、〇	一七七	三八、一	四〇、九	四一、〇	五九、〇	四六、二	二二九、六	二九一、五〇〇
第七月七ヶ月	二八、七	二三、八	一五五、一	一七七	三八、五	四一、三	四一、三	五九、九	四六、五	二三〇、二	三〇六、七五〇
第八月八ヶ月	二九、七	二三、五	一五九、六	一七九	三八、八	四二、〇	四一、七	六〇、六	四六、五	二三三、三	三二六、二五〇
第九月九ヶ月	三〇、九	二四、一	一六一、二	一七九	三九、〇	四二、六	四一、三	六一、六	四六、五	二三三、九	三三七、五〇〇
第一〇ヶ月	三三、一	二四、一	一六四、三	一七九	三九、一	四二、七	四三、〇	六一、三	四六、五	二三五、二	三三八、五〇〇
第一一ヶ月	二四、九	二五、六	一六八、三	一八三	三九、二	四三、〇	四三、四	六五、一	四六、五	二三六、四	三六〇、七五〇
第一二ヶ月	二五、六	二五、八	一七三、六	一八六	三九、四	四三、三	四三、四	六五、一	四六、五	二三七、九	三六〇、七五〇
第一三ヶ月	二六、一	二六、四	一七三、九	一八七	三九、五	四三、三	四三、五	六五、九	四六、九	二三八、〇	三六一、八七五
第二四ヶ月	二七、五	二七、七	一七四、一	一八七	三九、六	四三、四	四三、六	六六、二	四七、九	二二九、〇	三七五、〇〇〇
第二五ヶ月	二八、七	二八、九	一七五、四	一八九	三九、七	四三、六	四三、七	六六、四	四八、〇	二四〇、〇	四一七、七五〇

(5) 濱村 號

(改良和種牝 昭和十年十月三日生)

月次及月齡	三月 第一七ヶ月	二月 第一六ヶ月	一月 第一五ヶ月	第一二月 第一四ヶ月	第一一月 第一三ヶ月	第一〇月 第一二ヶ月	九月 第一一ヶ月	八月 第一〇ヶ月	七月 第九ヶ月	六月 第八ヶ月	五月 第七ヶ月	四月 第六ヶ月
体高	一一四、七	一一九、一	一二八、五	一三七、九	一四六、九	一五六、〇	一六五、四	一七四、七	一八三、五	一九二、九	二〇一、九	二一〇、三
部十字	一二六、八	一三三、一	一四二、五	一五〇、二	一五九、九	一六八、〇	一七六、九	一八五、七	一九四、五	二〇三、九	二一三、九	二二二、四
胸圍	一四八、八	一四二、七	一四一、一	一四〇、四	一三九、五	一三九、二	一三八、六	一三七、九	一三六、四	一三五、三	一三三、九	一三二、六
腹圍	一七三、四	一五六、六	一五五、三	一五三、五	一五二、〇	一五一、六	一五一、三	一五〇、〇	一四九、七	一四八、四	一四八、八	一四七、九
管圍	一四、五	一三、九	一三、九	一三、九	一三、九	一三、九	一三、九	一三、九	一三、九	一三、六	一三、六	一三、三
胸幅	三二、九	三〇、九	三〇、六	三〇、七	二六、四	二四、八	二三、三	二二、七	一八、六	一五、五	一四、六	一三、〇
腰角幅	三五、九	三五、六	三四、一	三三、八	三三、五	三三、二	三三、八	三三、五	三三、二	三二、九	二九、八	二六、四
腕幅	三七、八	三六、九	三六、三	三五、九	三五、六	三五、三	三五、〇	三五、〇	三五、〇	三四、七	三四、一	三三、九
胸深	五七、四	五四、三	五三、四	五二、七	五一、一	五一、八	五一、五	五一、一	五〇、八	五〇、八	五〇、二	四九、六
尻長	四一、九	四一、二	四〇、三	三九、八	三九、二	三八、八	三八、八	三八、五	三八、五	三八、五	三七、八	三四、一
体長	一三四、三	一二四、三	一二四、〇	一二三、七	一二三、四	一二三、四	一二三、一	一二三、一	一二三、八	一二三、五	一二三、一	一二二、二
体重	二二二、五〇〇	二二五、〇〇〇	二二九、〇〇〇	二二七、五〇〇	二二三、七五〇	二二三、四〇〇	二二三、一五〇	二二三、一〇〇	二二三、七五〇	二二三、五〇〇	二二三、一〇〇	二二二、〇〇〇

(6) 八雲 號

(改良和種牝 昭和十一年六月二十二日生)

月次及月齡	六月 生時	七月 第一ヶ月	八月 第二ヶ月	九月 第三ヶ月	第一〇月 第四ヶ月	第一一月 第五ヶ月	第一二月 第六ヶ月	第一三月 第七ヶ月	第一四月 第八ヶ月
体高	五九、九	六六、九	六二、五	七九、七	八〇、三	八二、二	八四、〇	八四、六	八四、九
部十字	六七、七	七二、三	七九、一	八四、三	八四、六	八四、九	八五、三	八七、一	八七、七
胸圍	六五、一	七一、三	八二、二	九七、七	九二、六	九九、二	一〇五、四	一〇五、四	一〇五、四
腹圍	八六、八	八七、四	九六、一	一一一、六	一一〇、九	一一一、八	一一三、三	一一三、九	一一三、九
管圍	七、一	八、九	九、六	一〇、九	一一、二	一一、八	一二、一	一二、〇	一二、七
胸幅	一五、五	一七、一	一七、四	一八、〇	一八、六	一八、六	一八、六	一八、六	一八、九
腰角幅	一八、一	一八、七	二〇、二	二二、四	二二、三	二二、六	二四、八	二五、一	二五、七
腕幅	二七、九	二九、五	三一、〇	三一、〇	三一、〇	三一、〇	三一、〇	三一、〇	三一、〇
胸深	三三、五	三四、一	三五、三	三六、三	三六、九	三七、二	三七、三	四〇、九	四一、九
尻長	二七、九	二九、五	三一、〇	三一、六	三一、六	三一、六	三一、七	三一、七	三一、七
体量	六二、〇	六六、〇	七七、五	九一、五	九六、一	九九、七	一〇一、二	一〇一、一	一〇〇、八
体重	二一、七五〇	四三、五〇〇	四五、〇〇〇	五六、二五〇	六七、五〇〇	八八、五〇〇	一一〇、二五〇	一〇七、二五〇	一一六、二五〇

(7) 第一福姫 號

(改良和種牝 昭和十一年十一月二十八日生)

月次及年齢	体高	部十字	胸圍	胸幅	胸深	腰角幅	腹圍	管圍	腕幅	尻長	坐骨幅	体長	体重
体高	八四、九	八七、七	一〇五、四	一三四、九	二二、七	一八、九	二五、七	三一、〇	四一、九	三一、七	一〇〇、八	一一六、二五〇	
部十字	八四、六	八七、一	一〇五、四	一三四、九	二二、〇	一八、六	二五、一	三一、〇	四〇、九	三一、七	一〇〇、一	一一七、二五〇	
胸圍	八二、二	八四、九	九九、二	一一一、八	一一、二	一八、六	二二、三	三一、〇	三七、二	三一、六	九九、二	一一〇、二五〇	
胸幅	八〇、三	八四、六	九二、六	一一〇、九	一一、二	一八、六	二二、三	三一、〇	三六、九	三一、六	九九、七	一一〇、二五〇	
胸深	七九、七	八四、三	九七、七	一一一、六	一一、二	一八、〇	二二、四	三一、〇	三六、三	三一、六	九九、七	一一〇、二五〇	
腰角幅	六二、五	七二、三	八二、二	九六、一	九、六	一七、四	二〇、二	三一、〇	三五、三	三一、〇	七七、五	一〇五、〇〇〇	
腹圍	六六、九	七一、三	八二、二	九六、一	一〇、九	一七、一	一八、七	二九、五	三四、一	二九、五	六六、〇	一〇三、五〇〇	
管圍	五九、九	六六、九	七二、三	八七、四	七、一	一五、五	一八、一	二七、九	三三、五	二七、九	六二、〇	一〇二、七五〇	
腕幅	五九、九	六六、九	七二、三	八七、四	七、一	一五、五	一八、一	二七、九	三三、五	二七、九	六二、〇	一〇二、七五〇	
胸深	五九、九	六六、九	七二、三	八七、四	七、一	一五、五	一八、一	二七、九	三三、五	二七、九	六二、〇	一〇二、七五〇	
尻長	五九、九	六六、九	七二、三	八七、四	七、一	一五、五	一八、一	二七、九	三三、五	二七、九	六二、〇	一〇二、七五〇	
体長	五九、九	六六、九	七二、三	八七、四	七、一	一五、五	一八、一	二七、九	三三、五	二七、九	六二、〇	一〇二、七五〇	
体重	五九、九	六六、九	七二、三	八七、四	七、一	一五、五	一八、一	二七、九	三三、五	二七、九	六二、〇	一〇二、七五〇	

体各部ノ名稱	十一月時	十二月時	第一月時	第二月時	第三月時	第四月時
体高	六二、〇	六九、七	七〇、七	八〇、三	九二、四	九二、四
十字部高	六六、〇	六九、七	七四、八	八六、八	九四、二	九四、二
胸圍	七一、三	七二、八	七六、〇	一〇〇、七	一〇六、九	一〇六、九
腹圍	一五、五	一五、八	一七、七	一八、九	二二、三	二二、三
管圍	二七、九	二九、四	三〇、四	三七、二	四一、八	四一、八
胸幅	二二、四	二二、九	二六、四	二八、六	二二、四	二二、四
腰角幅	六八、二	六九、七	七一、三	一〇八、五	一一、三	一一、三
臑幅	九、三	九、三	九、三	一〇、八	一一、四	一一、四
胸深	一八、八	一八、八	二一、七	二四、八	二七、五	二七、五
尻長	一八、六	二〇、一	二一、七	二九、四	三〇、一	三〇、一
坐骨幅	九、三	一二、〇	一五、〇	一五、三	一六、〇	一六、〇
体長	六二、〇	七七、五	八〇、〇	八六、八	八九、九	八九、九
体重	二六、二五〇	四八、七五〇	六八、〇〇〇	七五、〇〇〇	八六、二五〇	八六、二五〇

(8) スツシープリリースター號

(ホルスタイン種 牝 昭和十一年十二月十六日生)

体各部ノ名稱	十一月時	十二月時	第一月時	第二月時	第三月時
体高	七五、九	八〇、一	八八、四	九三、〇	九三、〇
十字部高	七九、一	八二、八	八八、四	九三、〇	九三、〇
胸圍	八六、八	八八、四	九三、〇	一〇一、二	一〇一、二
腹圍	八二、二	九三、〇	一〇一、二	一一、五	一一、五
管圍	一〇、八	一一、二	一二、二	一二、五	一二、五
胸幅	一五、五	一八、六	二〇、一	二二、一	二二、一
腰角幅	一五、五	一八、六	二二、七	二二、七	二二、七
臑幅	二二、七	二四、八	二七、九	二七、九	二七、九
胸深	三三、〇	三四、一	三四、一	四一、三	四一、三
尻長	二二、七	二四、八	二四、八	二四、八	二四、八
坐骨幅	一五、〇	一五、〇	一五、〇	一五、〇	一五、〇
体長	六五、一	七九、一	七九、一	九六、一	九六、一
体重	四八、七五〇	五七、七五〇	七九、一五〇	一七一、二五〇	一七一、二五〇

(9) ヘンドリクプリリアーチス號

(ホルスタイン種 牝 昭和十二年一月六日生)

体各部ノ名稱	十一月時	十二月時	第一月時	第二月時	第三月時
体高	七四、四	八〇、六	八〇、六	八六、八	八六、八
十字部高	八〇、六	八二、二	八九、九	一〇二、三	一〇二、三
胸圍	八六、八	八九、九	一〇二、三	一一、五	一一、五
腹圍	九三、〇	一〇八、五	一一、五	一二、三	一二、三
管圍	九、三	一〇、八	一二、三	一二、三	一二、三
胸幅	一五、五	一八、六	二二、三	二二、三	二二、三
腰角幅	一五、五	一八、六	二二、七	二二、七	二二、七
臑幅	二二、七	二四、八	二七、九	二七、九	二七、九
胸深	三三、〇	三四、一	三三、〇	三九、九	三九、九
尻長	二四、八	二七、九	二七、九	三三、〇	三三、〇
坐骨幅	一二、〇	一二、〇	一二、〇	一五、〇	一五、〇
体長	七一、三	七九、一	七九、一	九六、一	九六、一
体重	四三、五〇〇	四九、五〇〇	四九、五〇〇	五八、二五〇	五八、二五〇

(10) 第二日下部號

(改良和種 牡 昭和十二年三月三日生)

体各部ノ名稱	十一月時	十二月時	第一月時	第二月時	第三月時
体高	五八、九	九七、六	七〇、五	六八、二	九、三
十字部高	九七、六	七〇、五	六八、二	九、三	一五、五
胸圍	七〇、五	六八、二	九、三	一五、五	一五、五
腹圍	六八、二	九、三	一五、五	一五、五	二〇、一
管圍	九、三	一五、五	一五、五	二〇、一	二九、四
胸幅	一五、五	一五、五	二〇、一	二九、四	二〇、一
腰角幅	一五、五	二〇、一	二九、四	二〇、一	六、〇
臑幅	二〇、一	二九、四	二〇、一	六、〇	六、〇
胸深	二九、四	二〇、一	六、〇	六、〇	二二、二五〇
尻長	二〇、一	六、〇	六、〇	二二、二五〇	二二、二五〇
坐骨幅	六、〇	二二、二五〇	二二、二五〇	二二、二五〇	二二、二五〇
体長	六、〇	二二、二五〇	二二、二五〇	二二、二五〇	二二、二五〇
体重	二二、二五〇	二二、二五〇	二二、二五〇	二二、二五〇	二二、二五〇

二豚

豚ハ本縣ノ獎勵種タル「中ヨークシャー種」ノ飼養蕃殖ヲ行ヒ生産仔豚ハ育成ノ上發育資質ヲ考査シ其ノ優良ナルモノハ種豚種禽種卵配付規程ニ依リ拂下ヲナシ斯業ノ普及改良ヲ圖レリ

一豚現在頭數

一種 牡 豚

二頭

種	類	名	號	生年月	產地	血	統
---	---	---	---	-----	----	---	---

同	ヨークシャー種	アスターブライアン號	昭和五年九月	千葉縣	父フオールドブライアン號 母アスターオブロージグ號
同	同	ジョンリーパール號	昭和七年三月	〃	父ジョンリーカーボルボーイ號 母第九ヒストンパール號

二種 牝 豚

十七頭

種 類	名	號	生 年 月	産 地	血	統
ヨークシャー種	てふをかだ	號	昭和三年一月	福井縣	父白雪號 母てふ號	
同	千 鳥	號	五年四月	〃	父ヒストンチャンピオンワンドラ號 母千葉號	
同	バイオレット	號	五年十月	〃	父ヒストンチュウエル號 母レットシユウエル號	
同	ヒバ	號	〃	〃	父ヒストンチャンピオンワンドラ號 母第二やまがら號	
同	葉 櫻	號	七年八月	〃	父アスターブライアン號 母山櫻號	
同	幸	號	〃十二月	〃	父アスターブライアン號 母ひばり號	
同	マミール	號	八年八月	農林省 畜産試験場	父ヒストンマーミオン九號 母ヒストンウツトランドズ三十號	
同	ハーモン	號	九年九月	〃	父ヒストンヘフルド二十八號 母二ノ一三三號	
同	てふ	號	九年六月	當 場	父アスターブライアン號 母てふをかだ號	
同	フアフィー	號	九年九月	千葉縣	父ヒストンマーミオン十五號 母よしのやま號	

種 豚 異 動 表

同	立川第七よしのやま號	〃	十年六月	東京府	父ヒストンマーミオン十五號 母よしのやま號
同	やまがら一〇ノ九號	〃	十年九月	當 場	父アスターブライアン號 母やまがらをかだ號
同	マミー一〇ノ九號	〃	〃	〃	父アスターブライアン號 母マミーウツトランドズ號
同	葉櫻一〇ノ一〇號	〃	十年十月	〃	父ジョンリーパール號 母葉櫻號
同	一ノ二一八號	〃	十年九月	農林省 畜産試験場	父ヒストンマーミオン號 母ミスレータイアナー二四號
同	一ノ二四〇號	〃	〃	〃	父八ノ一號 母七ノ五八號
同	一ノ二三九號	〃	〃	〃	父八ノ一號 母七ノ五八號

種 類	名	稱	性	生 年 月	産 地	移 動 年 月 日	備 考
ヨークシャー種	アスター	九ノ六號	牡	昭和九年六月	當 場	昭和 二、三、五	廢用加工
同	福 千	號	牝	二年六月	〃	二、三、六	〃
同	やまがらをかだ	號	〃	〃 八月	福井縣	二、一	〃
同	やまがら一〇ノ九號	號	〃	十年九月	當 場	二、一、五	生産豚ヨリ 種豚編入
同	マミー	一〇ノ九號	〃	〃	〃	二、一、五	〃

種	種付牝數	種付回数	受胎頭數	受胎率	備考
ヨークシャー種	葉櫻一〇ノ一〇號	〃	〃	十年十月	昭和 三、一、五 生産豚ヨリ 種豚編入
同	一一ノ二一八號	〃	〃	十年九月	農林省 畜産試験場
同	一一ノ二四〇號	〃	〃	十月	〃
同	一一ノ二三九號	〃	〃	六月	〃

ハ種豚蕃殖成績

一 種牝豚種付成績

種牝豚名	種付牝數	種付回数	受胎頭數	受胎率	備考
アスターブライアン號	一〇	一〇	一〇	一〇〇%	
ジョンリーパール號	九	九	九	一〇〇	
アスター九ノ六號	二	二	一	五〇	

二 種牝豚分娩成績

名 號	供用種牝名	種付回数	種付年月日	分娩年月日	産次	在胎日數	産兒頭數	死産
葉櫻號	ジョンリーパール號	一	昭和 二、一、五	昭和 二、五、二	五	二八	五	一〇
幸 號	アスターブライアン號	一	昭和 二、二、三	昭和 二、六、二	五	二二	四	一〇
てふ九ノ六號	同	一	昭和 二、三、二七	昭和 二、七、二六	二	二二	五	九
フアアイドル九ノ九號	アスター九ノ六號	二	昭和 二、三、二五	昭和 二、七、二八	二	二六	三	一〇
ハーモランド號	アスターブライアン號	一	昭和 二、三、二五	昭和 二、七、二八	二	二六	四	二
千 鳥 號	アスター九ノ六號	一	昭和 二、三、二六	昭和 二、七、二八	一	二五	二	七
マミーウツトランズ號	アスターブライアン號	一	昭和 二、四、三〇	昭和 二、八、二一	三	二四	七	三
バイオレツド號	ジョンリーパール號	一	昭和 二、五、二	昭和 二、八、二五	七	二六	五	二
やまがらをかだ號	アスターブライアン號	一	昭和 二、五、三	昭和 二、八、二五	一三	二五	五	一〇
立川第七よしのやま號	同	一	昭和 二、七、二四	昭和 二、一、二四	一	二四	六	八
幸 號	ジョンリーパール號	一	昭和 二、九、三	昭和 二、一、二四	六	二三	四	二
葉櫻號	アスターブライアン號	一	昭和 二、九、三	昭和 二、三、二七	六	二六	二	六
てふをかだ號	ジョンリーパール號	一	昭和 二、九、五	昭和 二、二、二八	三	二五	三	八
フアアイドル九ノ九號	アスターブライアン號	一	昭和 二、一〇、二五	昭和 二、二、二六	三	二五	七	二
千 鳥 號	同	一	昭和 二、二、二二	昭和 二、三、二三	三	二三	五	二

種牝豚名	種付牝數	種付回数	種付年月日	分娩年月日	産次	在胎日數	産兒頭數	死産
アスターブライアン號	一〇	一〇	昭和 二、二、三	昭和 二、六、二	五	二二	四	一〇
同	一	一	昭和 二、三、二七	昭和 二、七、二六	二	二二	五	九
アスター九ノ六號	二	二	昭和 二、三、二五	昭和 二、七、二八	二	二六	三	一〇
アスターブライアン號	一	一	昭和 二、三、二五	昭和 二、七、二八	二	二六	四	二
アスター九ノ六號	一	一	昭和 二、三、二六	昭和 二、七、二八	一	二五	二	七
アスターブライアン號	一	一	昭和 二、四、三〇	昭和 二、八、二一	三	二四	七	三
ジョンリーパール號	一	一	昭和 二、五、二	昭和 二、八、二五	七	二六	五	二
アスターブライアン號	一	一	昭和 二、五、三	昭和 二、八、二五	一三	二五	五	一〇
同	一	一	昭和 二、七、二四	昭和 二、一、二四	一	二四	六	八
ジョンリーパール號	一	一	昭和 二、九、三	昭和 二、一、二四	六	二三	四	二
アスターブライアン號	一	一	昭和 二、九、三	昭和 二、三、二七	六	二六	二	六
ジョンリーパール號	一	一	昭和 二、九、五	昭和 二、二、二八	三	二五	三	八
アスターブライアン號	一	一	昭和 二、一〇、二五	昭和 二、二、二六	三	二五	七	二
同	一	一	昭和 二、二、二二	昭和 二、三、二三	三	二三	五	二

葉 櫻 號	幸 號	てふ九ノ六號	ファイデル九ノ九號	ハーモンドランド	千 鳥 號	マミー ウツトランズ號	バイオレット號	やまがらをかだ號	立川第七よしのやま號	てふをかだ號	ひばり號	小 計	前年度繰越
二	二	二	二	一	二	一	二	一	一	一	一	一八	
牝	牝	牝	牝	牝	牝	牝	牝	牝	牝	牝	牝	牝	牝
九七	四八	九〇	一〇	七四	一七	七五	一八	三五	八六	五三	七一	七七	七四
七九	六七	四五	七三	七四	五二	五三	二三	二五	五三	五二	五五	四五	一一
	五二	一〇	一〇		三〇	三〇	三三		一一	〇一	〇〇	〇〇	二〇
												〇三	〇三
												四〇	四〇
一〇	一〇	六四	三七		六五							三二	
〇	〇											二一	
淘汰二〇	淘汰二〇				淘汰一〇							淘汰二一	

二 年度内生産仔豚異動表

名 區 分	分娩回数	牝牝別	生産頭數	拂 下 斃 死 種豚編入肉加工屠殺翌年度繰越	備考
てふ九ノ六號	ジョンリー號	—	—	二、三、三	
バイオレット號	アスターアン號	—	—	二、三、四	
ひばり號	同	—	—	二、三、六	
ハーモンドランド	ジョンリー號	—	—	二、三、五	妊娠中
やまがら	同	—	—	二、三、三	
葉櫻	アスターアン號	—	—	二、三、八	
マミー	同	—	—	三、一、五	
立川第七よしのやま號	ジョンリー號	—	—	三、一、六	
幸	ジョンリー號	—	—	三、三、三	
てふをかだ號	アスターアン號	—	—	三、三、一五	
マミー	ジョンリー號	—	—	三、三、一五	
ウツトランズ號	ジョンリー號	二七	—	三、三、一五	
計					
平均					二、四、四
					七七
					九七一七
					七四

合計	1081	546	110	03	40	31
合計	1081	546	110	03	40	31
合計	1081	546	110	03	40	31
合計	1081	546	110	03	40	31
合計	1081	546	110	03	40	31

本種豚拂下表

郡市別	昭和七年		昭和八年		昭和九年		昭和十年		昭和十一年		廢豚拂下頭數
	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格	
計	45	55	100	342	275	617	2				2
福井市	1	2	2	1	0	0	1	1	1	1	1
三方郡	1	12	12	1	60	60	60	60	60	60	60
敦賀郡	8	10	18	64	50	114	114	114	114	114	114
南條郡	2	2	4	16	10	26	26	26	26	26	26
丹生郡	3	1	4	18	5	29	29	29	29	29	29
今立郡	3	3	6	18	15	33	33	33	33	33	33
大野郡	6	4	10	42	20	62	62	62	62	62	62
坂井郡	13	9	22	104	45	149	149	149	149	149	149
吉田郡	4	7	11	26	35	61	61	61	61	61	61
足羽郡	6	5	11	48	25	73	73	73	73	73	73

最近五ヶ年間種豚拂下比較表

郡市別	昭和七年		昭和八年		昭和九年		昭和十年		昭和十一年	
	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格
計	7	35	1	5	2	10	2	10	2	10
福井市	1	1	1	5	2	8	2	8	2	8
大飯郡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
遠敷郡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
三方郡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
敦賀郡	6	33	2	10	8	38	5	20	8	24
南條郡	20	100	30	150	20	100	20	100	20	100
丹生郡	8	55	4	20	10	50	10	50	10	50
今立郡	2	10	11	55	1	5	1	5	1	5
大野郡	6	30	5	25	4	20	3	15	10	30
坂井郡	5	28	15	75	7	35	15	75	15	75
吉田郡	2	10	6	30	1	5	4	20	2	10
足羽郡	7	35	1	5	2	10	2	10	2	10

計	去	三〇二	九七	四八五	三三	三六	一〇一	六八	一〇〇	六一七
---	---	-----	----	-----	----	----	-----	----	-----	-----

三 鶏

イ 種鶏ノ移動及現在羽數

種 類	年度始現在雄雌雛ヨリ編入		廢用		斃死		年度未現在	
	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌
單冠白色レグホーン種	一九	二〇八	二	三	—	—	一八	二〇四
名 古 屋 種	四	三三	—	—	—	—	三	二五
ロードアイランドレット種	—	六	—	—	—	—	—	—
計	二四	二四七	二	四	—	—	二一	二二九

ロ 種雛ノ移動及現在羽數

種 類	昭和十年		受 入		拂 出		翌年度へ繰越
	度線入數	生産	購入	計	種禽種雛編入	廢用試驗用及淘汰斃死計	
單冠白色レグホーン種	二〇四	五六〇四	一七一	五七五	五	三三六	八六〇六、一三、六八五
名 古 屋 種	六〇	二四〇	二〇	二六〇	—	—	—
計	二六四	五八〇四	一九一	六三五	六	三三六	—

ハ 種雛購入表

購入年月日	種 類	羽 數	購入先	備 考
昭和十一年五月二日	單冠白色レグホーン種	一五〇	岡崎種鶏場	初生雛甲級
同	名 古 屋 種	二〇	同	初生雛甲級
昭和十一年五月十一日	單冠白色レグホーン種	二二	富山縣正覺園	初生雛
計		一九一		

ニ 種鶏種雛拂下衣

郡市別	種 別	單冠白色レグホーン種		名 古 屋 種		件 數 計	羽 數
		件 數	羽 數	件 數	羽 數		
福 井 市		八	八三	—	—	九	八四
足 羽 郡		三	一八五	—	—	三	一八五
吉 田 郡		一三	三八七	二	—	一五	三九二

種別	木種鶏年齢別拂下表										
	坂井郡	大野郡	今立郡	丹生郡	南條郡	敦賀郡	三方郡	遠敷郡	大飯郡	計	名古屋種
計	六	一〇	二	九	五	一	四	六	一	六八	二
坂井郡	八三五	一八八	二六〇	三二〇	四〇八	二〇	一七五	四七〇	四〇	三三七一	九六
大野郡	五	二〇	一	一	二〇	一	四五	一	一	九六	七九
今立郡	七	一一	二	九	八	一	七	六	一	七九	一
丹生郡	八四〇	二〇八	二六〇	三二〇	四二八	二〇	二二〇	四七〇	四〇	三四六七	一
南條郡											
敦賀郡											
三方郡											
遠敷郡											
大飯郡											
計	六	一〇	二	九	五	一	四	六	一	六八	二

種別	木種鶏年齢別拂下表	
	單冠白色レグホーン種	名古屋種
計	一六三四	一五
初生	一六一九	一五
三十日	一四二七	六〇

種別	六十日	百	種
計	二八九	三二	五
單冠白色レグホーン種	三、三七一	九六	九六
名古屋種	三〇八	三二	六

へ累年種鶏拂下比較表

種類	ト種鶏拂下出願數ニ對スル配付數										
	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年	昭和七年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十一年度
單冠白色レグホーン種	五四八	一、六二五	二、五〇九	一、九四〇	二、三三八	一、七五九	一、六三一	二、五〇三	一、二八七	三、三七二	三、三七二
名古屋種	九七	一、六二	一八八	九六	九	六二	六	三三	七	六	六
横班プリマスロツク種	九	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一
三河種	一	一	一	三	七	四	四	一	一	一	一
計	六五四	一、七七七	二、七二〇	二、〇六〇	二、四三四	一、八三九	一、六七三	二、五五六	一、三六一	三、四六七	三、四六七

單冠白色レグホーン種	四、九一〇
名古屋種	二二一
計	五、一三一
單冠白色レグホーン種	三、三七一
名古屋種	九六
計	三、四六七

チ種卵拂下表

單冠白色レグホーン種	名古屋種	計
件數	件數	件數
九	二一八	三
筒數	筒數	筒數
二一八	三	一五
計	計	計
一二二	一二二	二二二

リ産卵調査表

延羽數	産卵數	産卵率	一羽一ヶ月平均産卵數
四月 六、三〇〇	四、三九九	七〇、五七	二、一七
五月 六、二〇〇	四、二二一	七〇、九二	二、〇六
六月 五、八八〇	三、九〇三	六六、〇八	二、〇四
七月 五、九二一	三、七三三	六二、七九	一九、四六
八月 五、七三五	二、八七七	五〇、一七	一五、五五
九月 五、〇四〇	一、八七八	三七、二六	一一、一八
十月 五、〇五三	一、四三七	二八、四四	八、八二
十一月 四、八九〇	一、三三六	二六、七二	八、〇一
十二月 五、〇五三	一、七三六	三三、五五	一三、五〇
一月 五、八八八	二、四七三	四二、四四	一三、一六
二月 五、七二二	三、二四七	五六、八五	一五、九二
三月 六、三三四	四、三四三	六八、六七	二二、二九
計 六七、七五六	三五、四四三	五二、三二	一九〇、九三

名古屋種

延羽數	産卵數	産卵率	一羽一ヶ月平均産卵數
四月 九六〇	四六八	四八、七五	一、四三
五月 九九二	五五五	五五、〇七	一、八三
六月 九六〇	四七三	四九、二七	一、四七
七月 九九二	三七九	三八、二〇	一一、八四
八月 六五一	一八二	三七、九四	八、六六
九月 六三〇	一六〇	二五、三九	七、六二
十月 六五一	一六三	二五、〇四	七、七六
十一月 六三〇	二一七	二〇、一六	六、〇五
十二月 六五一	二〇四	三一、三四	九、七二
一月 六八六	二六八	三九、〇七	一二、二二
二月 七〇〇	二七四	三九、一四	一〇、九六
三月 七七五	四〇二	五二、〇四	一七、六八
計 九二七八	三六四五	三九、二九	一四三、四一

ロードアイランドレット種

延羽數	産卵數	産卵率	一羽一ヶ月平均産卵數
四月 一八〇	一三七	七六、二二	三、八三
五月 一八六	一四七	七九、〇四	二、四、五〇
六月 一八〇	一三五	七五、〇〇	三、五〇
七月 一八六	一三四	六六、六七	二、〇、六七
八月 一八六	一四四	六二、二九	一八、二〇
九月 一八〇	一五五	六三、八九	一九、二七
十月 一八六	五九	三二、七二	九、八三
十一月 一八〇	五七	三二、六七	九、五
十二月 一八六	八四	四五、一七	一四、〇〇
一月 三四一	二二七	六六、六四	一九、七三
二月 三三六	二三九	七二、七三	二〇、〇八
三月 三四一	二五〇	七三、三一	二一、七三
計 二、六六八	一、六七八	六二、八九	一九、五九



延羽數	七、二六〇	七、三七八	七、〇二〇	七、〇九九	六、五七二	五、八五〇	五、八九〇	五、七〇〇	五、八九〇	六、八五五	六、七四八	七、四四〇	七、九七二
産卵數	四、九二四	四、八六三	四、五二一	四、二二六	三、一七三	二、一五三	一、六五九	一、四九〇	二、〇二四	二、九五八	三、七六〇	五、〇三五	四、〇七六
産卵率	六七、八二	六五、九二	六四、二天	五九、三九	四六、七六	三六、八〇	二八、一九	二六、一四	三四、三七	四三、一五	五五、七二	六七、六七	五一、一四
一羽一ヶ月平均産卵數	二〇、三五	二〇、四三	一九、二八	一八、四二	一四、五〇	一一、〇四	八、七四	七、八四	一〇、六五	一三、三八	一五、六〇	二〇、九一	一八、三六

又 最近五ヶ年間産卵成績表

種別	昭和七年度		昭和八年度		昭和九年度		昭和十年度		昭和十一年度	
	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十一年度	昭和十一年度	昭和十一年度	昭和十一年度	
單冠白色レグホーン種	一六三、五九	一七〇、五三	一八七、七二	一九〇、九三	一九〇、九三	一九〇、九三	一九〇、九三	一九〇、九三	一九〇、九三	一九〇、九三
名古屋種	二四、二八	一四、一四	一三、四〇	二七、三五	二七、三五	二七、三五	二七、三五	二七、三五	二七、三五	二七、三五
ワードアイランドレット種	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考	一羽一ヶ年平均産卵數									

ル 産卵能力調査鶏成績表

(初産卵後三百六十五日間 單冠白色レグホーン種年度末現在數)

産卵數	昭和六年	昭和七年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	計
産卵數	三二〇卵以上	三〇〇卵以上	二七〇卵以上	二五〇卵以上	二〇〇卵以上	計
計	—	—	—	—	—	—

ラ 人 工 孵 化	七年	八年	九年	十年	計
入卵筒數	—	—	—	—	—
無精卵數	—	—	—	—	—
發育中止	—	—	—	—	—
破損卵數	—	—	—	—	—
死籠卵數	—	—	—	—	—
孵化數	—	—	—	—	—
有精卵ニ對スル孵化率	—	—	—	—	—

當場ニ於テ本年度使用ノ孵卵器ハ温湯式平面孵卵器ニシテ孵卵回数二十回ニ及ビ其ノ成績左表ノ如シ

孵卵成績表

入卵筒數	二、六八三
無精卵數	二、〇八一
發育中止	一、一〇九
破損卵數	一六
死籠卵數	二、〇三四
孵化數	六、三四三
有精卵ニ對スル孵化率	六六、一七%

ワ 育 雛 ノ 概 要

年度内孵化羽數六千三百四十三羽中生育見込ノモノ五千八百七十四羽ニ前年度ノ繰越雛千百羽及購入雛百九十一羽合計七千六百五十五羽ヲ育雛シ種禽拂下數三千四百六十七羽廢用拂下七百七十八羽及當場種鶏ニ編入セシモノ七〇羽翌年度ニ繰越羽數七三〇羽ヲ控除シ他ハ淘汰及斃死セシモノニシテ育雛率七〇、四%ナリ

育雛ハ専ラ人工ニ依ルモノニシテ之ニ使用セシ育雛器ハ煉炭傘形器ナリ、給温日數ハ育雛時期ニ依リテ長短アリタレドモ餌付後四十日前後ニテ給温ヲ廢止ス、餌ハ孵化後三十日内外ハ三菱初生雛用飼料ヲ用ヒ或ハ後章ニ示セル飼料配合表ニ依リ主トシテ粉餌ヲ給與シタルモ舍内狭小ト密飼ノ爲運動不足等ニ陥ルガ如キ弊アルヲ慮リテ床上ニ敷料ヲ施シテ保溫排濕ニ努ムルト共ニ時々敷藁中或ハ運動場ニ撒餌シ雛群ヲシテ佇立セシムルコトナク自由ニ啄食セシメテ自ラ運動ヲ促シ惡癖ヲ豫防シ以テ發育ノ完全ヲ圖レリ、給水ハ常ニ清水ヲ施シ青菜類ハ多給セリ尙骨粉貝殼等ハ適當ニ給與シテ無機分ヲ補給セル外木炭末ヲ粉餌中ニ混與シテ雛体消化器系統ノ健康活成ニ努メタリ、舍外運動ハ餌付後三週間目頃ヨリ温暖ノ日ヲ選ビテ行ヒ漸次運動時間ヲ延長シ外氣ニ馴レシメ寒胃ニ對スル抵抗力ヲ増サシムル如ク管理セシモ當地方ニ於テ、毎年三月迄ハ雨雪ノ關係上舍外ニ運動セシムル日尠シ

カ 第二回福井縣產卵能力檢定

當場ニ於テハ鶏ノ產卵能力増進ヲ圖リ優良鶏ヲ普及セシメンガ爲昭和九年以來縣内養鶏業者ノ委託ニ依ル產卵能力ノ檢定ヲ實施シツ、アリ第二回產卵能力檢定成績ノ概要次ノ如シ

一、檢定期間

檢定期間ハ昭和十年十一月一日ヨリ昭和十一年十月十五日ニ至ル三百五十日間ニシテ檢定鶏ハ白痢保菌ノ有無檢査ノ上健康ナルモノヲ昭和十年十月二十五日收容シ一週間ノ豫備飼養ヲ行ヒタリ

二、檢定ノ鶏

室番號	種 類	羽數	生年月日	依 賴 者 住 所	氏 名
一	單冠白色レグホーン	五	昭和十年三月廿八日	坂井郡本莊村藤澤	小島順之助

一	〃	五	〃	四月六日	濱四鄉村黒目	濱谷正孝
二	〃	五	〃	四月十八日	福井市日ノ出中町	辻岡伊與吉
二	〃	五	〃	四月十八日	〃	辻岡強
三	〃	五	〃	四月十一日	足羽郡木田村木田地方	田中實
三	〃	五	〃	四月十一日	〃	田中忠雄
四	〃	五	〃	四月十三日	敦賀郡敦賀町大黒	小倉音吉
四	〃	五	〃	三月八日	南條郡神山村千福	田中甚兵衛
五	〃	五	〃	四月五日	坂井郡伊井村桑原	館谷一三
五	〃	五	〃	三月二十日	丹生郡吉野村家久	西岡勇

三、所有者別產卵成績

(自昭和十年十一月一日至昭和十一年十月十五日三百五十日間合格印)

檢定番號	產卵數	產卵重量	一箇平均量	產卵率	檢定終了羽數	依 賴 者 名
一〇一	一四七	八一〇六、五	五五、一	四二		
一〇一二	三〇二	一七六五〇、四	五八、四	八六		

一〇一七八	二二六	一三〇〇二、一	五七、七	六五	四 田 中 忠 雄
一〇一二七	二〇二	一〇七八八、一	五三、四	五八	
一〇一二六	二三七	一四一三四、八	五九、七	六八	
計	一〇〇三	五六七六三、〇	五六、五	五七	
一〇一二五	二五五	一三六二〇、五	五三、四	七三	五 田 中 實
一〇一二四	一五四	九二一二、七	五九、八	六四	
一〇一二三	二二六	一三七八〇、一	六一、〇	六五	
一〇一二二	一五五	八九六五、四	五七、八	四四	
一〇一一一	二二三	一一一八四、三	五二、五	六一	四 辻 岡 強
計	七七五	四四〇〇七、六	五六、八	五五	
一〇一一〇	二〇六	一一二九七、〇	五四、九	五九	
一〇一一九	一三九	八一〇八、一	五八、四	四〇	
一〇一一八	一八五	一一〇八七、三	六〇、〇	五三	一〇一一七
一〇一一七	二四五	一三五二五、二	五五、二	七〇	

一〇一三	二七五	一五二二六、一	五五、〇	七九	四 小 島 順 之 助
一〇一四	二四九	一三六三二、六	五四、八	七一	
計	九七三	五四五一五、六	五六、〇	七〇	
一〇一六	二一四	一三四一四、四	六二、〇	六一	
一〇一七	一八九	一〇八七九、八	五七、五	五五	四 濱 谷 正 孝
一〇一八	二二一	一二〇七〇、三	五四、七	六三	
一〇一九	二三二	一四三二〇、五	六一、七	六六	
計	八五六	五〇六八五、〇	五九、二	六一	
一〇一二一	二二五	一一六一九、九	五四、〇	六一	五 辻 岡 伊 與 吉
一〇一二二	二二五	一四三五三、五	六三、八	六四	
一〇一二三	二四八	一三七三一、九	五五、四	七一	
一〇一二四	二九三	一六七〇六、九	五七、〇	八四	
一〇一二五	二三四	一四八一八、〇	六三、三	六七	一〇一二八
一〇一二五	二二五	七一二三〇、二	五八、六	六九	

四、檢定鶏体重量調

室番號	檢定番號	搬入時体重	搬出時体重	比	較	備	考
				增	減		
—	一〇一四	一八四五	一九六〇	一一五			
—	一〇一三	一九六五	二二一〇	一四五			
—	一〇一二	一七六五	一八九〇	一二五			
—	一〇一一	一八一五	二二七〇	三五五			

計	六二三	三四六六一、九	五五、六	五九			
一〇一四五〇	二六二	一三六〇六、九	五一、九	七五		三	
一〇一四八	二二四	一三二八〇、八	六二、一	六一		西	
一〇一四六	一四七	七七七四、二	五二、九	四二		岡	
計	七九六	四二二六二、七	五三、一	七六			
一〇一四五	二七三	一五五九七、五	五七、一	七八			
一〇一四三	二六一	一四〇九八、二	五四、〇	七五		三	館
						谷	一
							三
							勇

計	二六二	一二五六七、〇	四八、〇	七五			
一〇一四二	一一八三	六六二九二、五	五六、〇	六八			
一〇一四〇	二二七	一三〇九二、四	五七、七	六五		五	
一〇一三九	二二六	一一五〇三、〇	五三、二	六二		田	
一〇一三八	二八〇	一五〇二二、七	五三、七	八〇		中	
一〇一三七	二三〇	一四〇九一、二	六一、三	六六		甚	
一〇一三六	二三〇	一二五八三、二	五四、七	六六		兵	
計	七九一	四二一九〇、〇	五三、二	五七			
一〇一三五	一六五	八三八一、三	五〇、八	四七		四	
一〇一三四	二四一	一三七二七、四	五七、〇	六九		小	
一〇一三三	二六一	一三七〇二、〇	五二、六	七五		倉	
一〇一三一	一二四	六三七九、三	五一、四	三五		音	
計	九三七	五一七〇六、六	五五、二	六七			
一〇一三〇	二七二	一三七八一、六	五〇、七	七八			
							吉

三	一〇一三七	一六五五	一八〇五	一五〇	1	
三	一〇一二六	一六二五	一九一〇	二八五	1	
	平均	一七八五	一九一七	一三二	1	
三	一〇一二五	一七二〇	一八三五	一一五	1	
三	一〇一二四	一七〇〇	一八五〇	一五〇	1	
三	一〇一二三	二〇九〇	二二五〇	一六〇	1	
三	一〇一二二	一七三五	一九五〇	二二五	1	
三	一〇一二一	一六八〇	一七〇〇	二〇	1	
	平均	一七一	二〇一四	三〇三	1	
二	一〇一二〇	一五八五	二〇六五	四八〇	1	
二	一〇一一九	一七一〇	一九九五	二八五	1	
二	一〇一一八	一五九〇	一七六五	一七五		
二	一〇一一七	一九六〇	二二三〇	二七〇	1	
二	一〇一一六	一七六〇	1	1	1	三月五日斃死

	平均	一八五〇	二〇八一	二二三一	1	
二	一〇一一五	一九二〇	二二三五	三一五	1	
二	一〇一一四	一七三〇	一七九五	六五	1	
二	一〇一一三	一七四〇	一七五〇	一〇	1	
二	一〇一一二	一八三〇	二二三〇	四〇〇	1	
二	一〇一一一	二〇三〇	二三九五	三六五	1	
	平均	一五八五	一八八六	三〇一	1	
一	一〇一一〇	一六六五	1	1	1	五月六日斃死
一	一〇一九	一七二〇	一九五〇	二二〇	1	
一	一〇一八	一六二五	二〇五五	四三〇	1	
一	一〇一七	一四二五	一五四〇	一一五	1	
一	一〇一六	一五七〇	二〇〇〇	四三〇	1	
	平均	一八四八	二〇三三	一八五	1	
一	一〇一五	一六三五	1	1	1	四月十五日斃死

累計	平均	一六六四	一八九二	二二八	1
----	----	------	------	-----	---

備考 檢定中止及斃死鶏体重ハ算入セズ

五、産卵筒數別羽數

檢定開始羽數	全完了	三〇〇以上	二七五以上	二五〇以上	二二五以上	二〇〇以上	一五〇以上	一〇〇以上	未滿
五〇	四一	一	三	七	一四	八	五	三	三

六、一羽産卵成績比較表

羽數	總筒數	總重量	産卵		筒數		産卵		重量	
			最高	最低	平均	最高	最低	平均		
四二	九五二	五四三五、一	三〇二	二四	二三、二	一七五〇、四	六三九、三	二五四四、三		

七、一組産卵成績比較表

組數	全群		最高		最低		平均	
	筒數	重量	筒數	重量	筒數	重量	筒數	重量
一〇	九五二	五四三五、一	二二五	七三三〇、二	六三三	三四六一、九	九二五	五二四二、五

八、月別産卵率調

完了羽數	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	計
四	六四、一	六二、二	六一、五	六四、五	七六、二	七六、七	七七、四	七三、三	六三、〇	五三、三	四五、四	三四、五	六四%

九、一羽産卵成績累年比較表

年度別	檢定終了羽數	總産卵筒數	總産卵重量	産率	一羽産卵筒數		一羽産卵重量	
					最高	最低	最高	最低
第一回 昭和十年度	四五	一〇、〇三六	五五四九七、四	六四%	二九	一〇〇	一五八七三、五	四八七三、四
第二回 昭和十一年度	四二	九、一五二	五二四三二、一	六四%	三三	二二四	一七六五〇、四	六三九七、三

一〇、一組産卵成績累年比較表

年度別	組數	全群		最高		最低		平均	
		筒數	重量	筒數	重量	筒數	重量	筒數	重量
第一回 昭和十年度	一一	一〇、〇三六	五五四九七、四	二八二	七七八〇、四	五〇二	二九六四、二	九二、五	五、四五三、四
第二回 昭和十一年度	一〇	九、一五二	五二四三二、一	二二五	七三三〇、二	六三三	三四六六、九	九二、二	五、四三二、五

一一、不合格卵調査表

檢定番號	筒數	重量	備考
一〇一	一	三三、五	過小卵

一〇一八	一	三八、二	〃
一〇一三五	七	二七三、〇	〃
一〇一三九	一	三九、一	〃

備考 不合格卵ハ産卵記録外トス

二、斃死並檢定中止鶏調査表

(1) 斃死 鶏

檢定番號	産		成		績		斃死年月日	死 因
	筒數	重 量	一筒平均量	延羽數	産卵率			
一〇一五	一一九	六四三四、七	五四、一	一六五	七三	昭和十一年四月十三日	急性腹膜炎	
一〇一〇	一〇九	六八三五、七	六二、八	一八八	五八	五月六日	肝臟破裂	
一〇一六	六六	三五五一、〇	五三、八	一二六	五二	三月五日	慢性腸加答兒	
一〇一二九	五五	二七六四、三	五〇、三	八九	六二	一月廿八日	盲腸炎	
一〇一四四	九八	五九二四、七	六〇、五	一二六	七八	三月五日	輸卵管炎	
一〇一四九	五九	二八八六、四	四八、九	一七四	三四	四月廿二日	肝臟炎	

(2) 檢定中止鶏

檢定番號	中止年月日	備 考
一〇一三二	昭和十一年一月三十一日	産卵能力檢定規程第七條ニ依ル
一〇一四一	〃	
一〇一四七	〃	

一三、檢定期間延長

第二回産卵能力檢定ハ昭和十一年十月十五日ヲ以テ三百五十日間ノ檢定ヲ終了セルガ檢定期間延長ノ必要ヲ認メタルニ依リ産卵能力檢定規程第六條ニ依リ昭和十一年十月十六日ヨリ同月三十日迄十五日間ノ延長ヲナシ累計三百六十五日間トセリ

(1) 産 卵 成 績

檢定延長期間中ニ於ケル産卵成績左ノ如シ

檢定番號	産卵數	産卵重量	一筒ノ平均量	延羽數	産卵率	依 賴 者 名
一〇一二	一四	九一〇、四	六五、〇	一五	九三%	小島順之助

(2) 産卵成績累計表

檢定番號	産卵數	産卵重量	一筒ノ平均量	延羽數	産卵率	依 賴 者 名
------	-----	------	--------	-----	-----	---------

一〇一ニ 三二六 一八五六〇、八 五八、七 三六五 八七% 小島順之助

一四、檢定鶏舎

檢定鶏舎ハ梁間二間半桁行十三間半ノモノヲ九室ニ区分シ(一室ハ調理室)北側ニ四尺ノ廊下ヲ設ケ給餌給水採卵掃除等ニ便ナル様建築シ一室ニ二組宛計十羽ヲ收容セリ隔壁ハ床上四尺迄ハ板張トシ其ノ上部金網張トナシ屋根ハ亞鉛葺床ハコンクリート床トス

一五、飼養管理

檢定鶏ノ飼養管理ハ當場種鶏ノ飼養管理ト同様ニナセリ

三 第三回福井縣産卵能力檢定

昭和十一年一月一日ヨリ昭和十二年三月三十一日ニ至ル百五十一日間ノ成績概要左ノ如シ

一、檢定鶏

室番號	種類	現在數		生年月日	依所		賴者名
		昭和十二年 十二月一日	昭和十三年 三月三十一日		住	所	
一	單冠 白色レグホーン	五	四	昭和十一年 五月二日	坂井郡 本莊村中濱	山口一之丞	
一	"	五	五	四月廿一日	" 藤澤	小島順之助	
二	"	五	五	四月八日	" 濱四郷村黒日	濱谷正孝	
二	"	五	五	四月一日	今立郡 北新庄村北	石本伊右衛門	

計	三	三	四	四	五	五	五	五〇	四八	四月十日	南條郡 神山村千福	田中甚兵衛
	"	"	"	"	"	"	"	"	"	四月二日	大野郡 上庄村森政領家	乾真二
	"	"	"	"	"	"	"	"	"	五月二日	敦賀郡 東浦村阿曾	梶谷盛政
	"	"	"	"	"	"	"	"	"	四月十四日	"	藤原桃太郎
	"	"	"	"	"	"	"	"	"	四月五日	坂井郡 伊井村桑原	館谷一三
	"	"	"	"	"	"	"	"	"	四月廿六日	福井市月見町	田中實

二、所有者体重表

室番號	搬入時				所有者氏名
	最大	最當	小	平均	
一	一七一〇	一六三五	一六六〇	山口一之丞	
一	一八四〇	一六二〇	一七四〇	小島順之助	
二	一六〇〇	一三二〇	一四七七	濱谷正孝	
二	一七六五	一五七五	一六四二	石本伊右衛門	
三	一六八〇	一三八五	一五五一	田中甚兵衛	

三	一六八〇	一三一五	一五〇一	乾	眞	二
四	一八四〇	一二四〇	一五六九	梶	谷	盛
四	一九三〇	一四三五	一六一三	藤	原	桃
五	一九〇〇	一四五〇	一六五七	館	谷	一
五	二一〇五	一四六五	一七二五	田	中	實

三、組別産卵成績

(一五一日間)

室番號	羽數	總箇數	總重量	産卵率	卵一箇平均量	産卵平均箇數	所有者氏名
一	四	三六七	三三三七、二	六四	五九、八	九六、八	山口一之丞
一	五	五五三	二八八七、一	七三	五二、二	二〇、六	小島順之助
二	五	五七六	三、八七、四	七	五七、一	二五、六	濱谷正孝
二	五	四四二	二四三四、六	五九	五五六	八、四	石本伊右衛門
三	五	四九八	二、三六〇、九	六二	五、七	九、六	田中甚兵衛
三	五	五八	三〇一七三、九	七六	五、六	一七、〇	乾眞二
四	五	五七二	三〇三六、二	七六	五、九	一四、四	梶谷盛政

計	四	五	四	計	四	五	四	計	四	五	四
四九六五	四七二	四九三	二八〇八、五	六三	五九、五	九四、四	藤原桃太郎	四	五	四	計
二六八八〇、八	二五四一、二	二二九四〇、八	二八〇八、五	六三	五九、五	九四、四	藤原桃太郎	四	五	四	計
二六八八〇、八	二五四一、二	二二九四〇、八	二八〇八、五	六三	五九、五	九四、四	藤原桃太郎	四	五	四	計
四九六五	四七二	四九三	二八〇八、五	六三	五九、五	九四、四	藤原桃太郎	四	五	四	計
四九六五	四七二	四九三	二八〇八、五	六三	五九、五	九四、四	藤原桃太郎	四	五	四	計

夕委託種禽育成所

本縣委託種禽育成所ノ名稱位置及管理者氏名左ノ如シ

名	稱	位	置	管理	者氏名
足羽郡委託種禽育成所	足羽郡東郷村東郷高等小學校	牧	賤	男	吉
吉田郡委託種禽育成所	吉田郡東藤島村上中高等小學校	高	山	音	善
坂井郡委託種禽育成所	坂井郡坪江村中川高等小學校	小	林	正	善
大野郡第一委託種禽育成所	大野郡上庄村上庄高等小學校	鳥	山	七	太
大野郡第二委託種禽育成所	大野郡野向村野向高等小學校	木	下	十一	郎
今立郡委託種禽育成所	今立郡新横江村新横江高等小學校	大	澤	翠	藏
丹生郡委託種禽育成所	丹生郡志津村志津高等小學校	山	本	堅	藏

南條郡委託種禽育成所	南條郡南日野村國華 <small>尋常高等</small> 小學校	田邊龍夫
敦賀郡委託種禽育成所	敦賀郡中郷村中郷 <small>尋常高等</small> 小學校	小泉常次郎
三方郡委託種禽育成所	三方郡十村十村 <small>尋常高等</small> 小學校	山口義隆
遠敷郡委託種禽育成所	遠敷郡今富村今富 <small>尋常高等</small> 小學校	井ノ口吾一
大飯郡委託種禽育成所	大飯郡佐分利村佐分利 <small>尋常高等</small> 小學校	木本忠治

第三章 飼養管理

一、飼養

飼料ハ概ネ次記飼料配合日量ニ依リ給與セシモ經濟的ニ且ツ一般農家ニ於テ用フルニ便ナルモノヲ基準トシテ配合セリ畜牛ニ在リテハ榮養泌乳妊娠等ヲ考慮シ比較的粗飼料ヲ用ヒテ消化機關ノ發育保全ヲ促スコトニ留意セリ

濃厚飼料ハ乾燥ノ儘分與シ尙季節榮養狀態泌乳量及發育中ノモノニ在リテハ其ノ程度ニヨリ飼料ノ増減ヲ行ヒ粗飼料ハ主トシテ當場生産ノ生牧草「エンシレージ」燕菁、青刈大豆野乾草等ニシテ何レモ品質良好ナルモノヲ給與シタリ

豚ハ健否妊娠發育ノ程度ニヨリ常ニ飼料ノ配合ヲ加減シ夏季ハ水、冬季ハ微温湯ヲ以テ攪拌粥狀トナシ日量ヲ三回ニ分與セリ

仔豚ニ在リテハ母豚ニ付テ哺乳セシムルノ外生後十五六日頃ヨリ渣乳ヲ給シ漸次穀米糠ヲ混與シテ飼料ニ馴

レシメ五六十日ニ至リテ斷乳ス

鶏ハ季節發育ヲ顧慮シ常ニ飼料ノ配合ニ注意シ天賦ノ能力ヲ發揮セシムルニ努メタリ給與飼料ハ練餌粉餌粒餌ノ型ニ於テシ粉餌ハ常ニ自動給餌器ニ入レテ慾スルガ儘トナシ粒餌ハ主トシテ時餌トシテ給與シタルモ日中ニハ一、二回少許ヲ搔床ニ撒餌シテ運動ヲ促スニ用ヒタリ練餌ハ粉餌中ニ菜類ヲ混和セルモノニシテ朝一回之ヲ給與セリ給水ハ畜牛ニアリテハ食後之ヲ行ヒ尙運動場ニ水槽ヲ設ケ毎日新鮮ナル冷水ヲ滿タシ運動中自由ニ飲マシメタリ、豚鶏ニ在リテハ毎日新鮮ナル清水ヲ容易ニ滿タシ自由ニ飲水セシメタリ

イ 犢ノ育成

當場生産犢ノ内ホルスタイン種ハ特別ノ事情ナキ限リ分娩後直チニ母牛ト離シ藁豐富ナル別房ニ移シ牛体ヲ清拭乾燥セシメ臍帶ニハ沃度丁幾ヲ塗布シ然ル後數時間ヲ經テ母乳〇、九乃至一、八疔ヲ攝氏三八度内外ニ温メ人工哺乳シ以後一週間ハ必ズ母牛ノ初乳ヲ其ノ後ハ胎脂乳トノ混合乳ヲ別記標準ニ依リ給與ス

而シテ之ガ給與ニ當リテハ給與乳ノ新鮮ト哺乳器具等ノ消毒殺菌等ニ注意スルト共ニ乳量ノ増減胎脂乳ノ混合割合増加ハ徐々ニ行ヒ急激ナル變化ナキ様留意セリ役肉用タル改良和種ノ犢ハ分娩當時ヨリ三ヶ月間母牛ト同居セシメ隨意ニ哺乳セシメ以後離乳ノ上別記標準ニ依リ飼料ヲ給與セリ

ロ 畜牛飼料給與標準

一、ホルスタイン種成牛及育成牛飼料給與標準

期別	年	齡	標準濃厚飼料		配合比(重量比)		干草	燕菁	エンシ	食鹽	敷藁			
			體重	日量	大豆	米糠								
七	一	二	100	3.5	3	30	10	10	100	5.0	6.0	1	5.0	5.0

冬	季 (自一至十月)				夏 (自五月至)			
	種	乳	妊	休	種	乳	妊	休
一三 一八 ヶ月	種 牛	乳 牛	妊 牛	休 息 牛 上	七 一 一 二 ヶ月	一 三 一 一 八 ヶ月	一 九 ヶ月 以上	種 牛
四〇〇	六〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	五〇〇	二五〇
三、五	三、〇	四、〇	三、〇	三、〇	三、〇	二、五	三、〇	三、〇
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	二〇	三〇	一〇
三〇	四〇	三〇	四〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
二〇	一〇	二〇	一〇	二〇	二〇	一〇	二〇	一〇
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
六、〇	八、〇	七、〇	八、〇	六、〇	八、〇	五、〇	七、〇	二、〇
八、〇	一〇、〇	六、〇	一〇、〇	八、〇	一〇、〇	四、〇	一〇、〇	二、〇
四、〇	二、〇	四、〇	二、〇	四、〇	二、〇	一、〇	四、〇	一、〇
六	八	八	六	六	八	七	六	四
五、〇	六、〇	五、〇	六、〇	五、〇	六、〇	五、〇	六、〇	五、〇

二、改良和種飼料給與標準

冬	季 (自一至十月)				夏 (自五月至)			
	種	乳	妊	休	種	乳	妊	休
一三 一八 ヶ月	種 牛	乳 牛	妊 牛	休 息 牛 上	七 一 一 二 ヶ月	一 三 一 一 八 ヶ月	一 九 ヶ月 以上	種 牛
四〇〇	六〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	五〇〇	二五〇
三、五	三、〇	四、〇	三、〇	三、〇	三、〇	二、五	三、〇	三、〇
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	二〇	三〇	一〇
三〇	四〇	三〇	四〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
二〇	一〇	二〇	一〇	二〇	二〇	一〇	二〇	一〇
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
六、〇	八、〇	七、〇	八、〇	六、〇	八、〇	五、〇	七、〇	二、〇
八、〇	一〇、〇	六、〇	一〇、〇	八、〇	一〇、〇	四、〇	一〇、〇	二、〇
四、〇	二、〇	四、〇	二、〇	四、〇	二、〇	一、〇	四、〇	一、〇
六	八	八	六	六	八	七	六	四
五、〇	六、〇	五、〇	六、〇	五、〇	六、〇	五、〇	六、〇	五、〇

三、ホルスタイン種哺乳犢飼料給與標準

冬	季 (自一至十月)				夏 (自五月至)			
	種	乳	妊	休	種	乳	妊	休
一三 一八 ヶ月	種 牛	乳 牛	妊 牛	休 息 牛 上	七 一 一 二 ヶ月	一 三 一 一 八 ヶ月	一 九 ヶ月 以上	種 牛
四〇〇	六〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	五〇〇	二五〇
三、五	三、〇	四、〇	三、〇	三、〇	三、〇	二、五	三、〇	三、〇
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	二〇	三〇	一〇
三〇	四〇	三〇	四〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
二〇	一〇	二〇	一〇	二〇	二〇	一〇	二〇	一〇
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
六、〇	八、〇	七、〇	八、〇	六、〇	八、〇	五、〇	七、〇	二、〇
八、〇	一〇、〇	六、〇	一〇、〇	八、〇	一〇、〇	四、〇	一〇、〇	二、〇
四、〇	二、〇	四、〇	二、〇	四、〇	二、〇	一、〇	四、〇	一、〇
六	八	八	六	六	八	七	六	四
五、〇	六、〇	五、〇	六、〇	五、〇	六、〇	五、〇	六、〇	五、〇

週生後經過數	全乳		濃厚飼料		干草		全乳		濃厚飼料		干草		回數
	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量		
全乳	六〇〇	四〇〇	二、一	三〇	四〇	一〇	二〇	一〇〇	三、五	一	一	七〇	六、〇
濃厚飼料	二、〇	二、〇	二、五	二〇	四〇	一〇	三〇	一〇〇	三〇	一	一	六〇	八、〇
干草	二、五	二、五	二、五	一〇	三〇	二〇	四〇	一〇〇	一五、〇	一	一	五〇	五、〇
全乳	四〇〇	四〇〇	二、五	三〇	四〇	一〇	二〇	一〇〇	二〇	一	一	五〇	四、〇
濃厚飼料	二、〇	二、〇	二、五	二〇	四〇	一〇	三〇	一〇〇	一五、〇	一	一	四〇	四、〇
干草	二、五	二、五	二、五	一〇	三〇	二〇	四〇	一〇〇	一五、〇	一	一	四〇	四、〇

一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	一	一	中止	一、〇	二、〇	三、〇	四、〇	五、〇	六、〇	七、〇	六、〇	五、五	五、〇
六、五	七、〇	七、五	八、〇	六、〇	五、〇	四、〇	三、〇	二、〇	一、〇	一	一	一	一
一、二	一、一	一、〇	〇、九	〇、八	〇、七	〇、六	〇、五	〇、四	〇、三	〇、二	〇、一	一	一
一、六	一、五	一、四	一、三	一、二	一、一	一、〇	〇、八	〇、六	〇、四	〇、二	〇、一	一	一
一	一	中止	一、〇	二、〇	三、〇	四、〇	五、〇	六、〇	七、〇	八、〇	七、〇	六、〇	五、五
八、〇	八、五	九、〇	七、〇	六、〇	五、〇	四、〇	三、〇	二、〇	一、〇	一	一	一	一
一、二	一、一	一、〇	〇、九	〇、八	〇、七	〇、六	〇、五	〇、四	〇、三	〇、二	〇、一	一	一
一、六	一、五	一、四	一、三	一、二	一、一	一、〇	〇、八	〇、六	〇、四	〇、二	〇、一	一	一
二	二	三	三	三	三	三	三	三	三	四	四	四	四

二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	中止	一、〇	二、〇	三、〇	四、〇	四、五	五、〇	五、五	六、〇
二、四	二、三	二、二	二、一	二、〇	一、九	一、八	一、七	一、六	一、五	一、四	一、三
二、八	二、七	二、六	二、五	二、四	二、三	二、二	二、一	二、〇	一、九	一、八	一、七
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一、〇	二、〇	三、〇	三、五	四、〇	四、五	五、〇	五、五	六、〇	六、五	七、〇	七、五
二、四	二、三	二、二	二、一	二、〇	一、九	一、八	一、七	一、六	一、五	一、四	一、三
二、八	二、七	二、六	二、五	二、四	二、三	二、二	二、一	二、〇	一、九	一、八	一、七
一	一	一	一	一	一	二	二	二	二	二	二

備考 濃厚飼料配合ハ三週ヨリ一二週迄ハ穀四〇、大麥三〇大豆粕二〇米糠一〇ノ割合一三週ヨリ

二六週迄ハ大麥三〇穀三〇大豆粕二〇米糠二〇ノ割合トス

八種豚飼料配合表

仔豚	仔付豚	牝豚	牡豚	區分
七五〇	一、三〇〇	一、二〇〇	九〇〇 <small>瓦</small>	穀
三五〇	九五〇	七五〇	七〇〇 <small>瓦</small>	米
一二〇	五五〇	三〇〇	二〇〇 <small>瓦</small>	糠
三七五	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇 <small>瓦</small>	大豆粕
二〇	六〇	四〇	三〇 <small>瓦</small>	醬油粕
二、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	七、五〇〇 <small>瓦</small>	魚粉
				生草

二種鶏飼料配合表

種別	飼料名	十一月		六月	
		配合比	給與量(一日一羽當)	配合比	給與量(一日一羽當)
粉	米 糠 玉蜀黍 粉	二〇	一八〇	二二	一七〇
		二五	二二〇	二〇	一五〇
餌	魚粉 兼用種 骨粉 兼用種	二二	三〇〇 <small>瓦</small>	二五	三二〇 <small>瓦</small>
		二三	三二〇 <small>瓦</small>	二五	三二〇 <small>瓦</small>
粒	玉蜀黍	四〇		四〇	

備考 牡蠣殻、石屑等ハ自由ニ啄食セシメ青菜ハ一日一羽六〇瓦宛給與ス(朝練餌ニ混與シ晝間ハ撒與ス)

水育雛飼料配合表

飼料名	餌付後五日間	孵化後一ヶ月迄	孵化後二ヶ月迄	孵化後三ヶ月迄	孵化後四ヶ月迄
穀	1	10	10	10	10
米糠	1	3	5	7	10
小麥	40	30	25	15	25
玉蜀黍	20	20	25	15	25
小麥	40	30	25	15	25
大豆粕	1	1	1	1	1
魚粉	1	4	2	2	1

骨	粉	1	三	三	三	三
---	---	---	---	---	---	---

備考 牡蠣殻、石屑、木炭末ハ隨時給與シ綠餌ハ充分ニ給與ス

へ飼料ノ購買及消費

品目	購買及消費量	購入金額
大豆粕	三九三七、五〇〇	三六一、七五
食鹽	三三〇、〇〇〇	一九、五二
甘藷	三六〇、〇〇〇	一五、三六
乾草	一三〇二七、五〇〇	三二八、七八
麥糠	三七五、〇〇〇	一〇、〇〇
カールゲン	二二五、〇〇〇	一八、二〇
魚粉	二九四二、八七五	三五二、二八
大麥	六五四三、三七五	六五六、〇〇
小麥	二四五二、八七五	三四一、三〇

三種混合	穀粉	骨粉	米糠	醬油粕	牡蠣殻	玄米	粗糶	藁	雜用混用飼料	計
四九三七、二五〇	一四一〇〇、〇〇〇	二八六、八七五	一四八二二、〇六三	一三八六、〇〇〇	八二五、〇〇〇	一一九二、三三三	一〇七六、二五〇	二二五八六束	一九八〇、〇〇〇	四三六、七〇
八七九、〇〇	二八、六七	五四一、二八	一七、七二	二二、二〇	一一三、二〇	六七、七九	二三五、九二	二〇一、六五	四六四七、三二	

二、管理

動物ノ取扱ニハ常に周到ナル注意ヲ拂ヒ以テ天賦ノ能力ヲ發揮セシムルコトニ努メタリ即チ畜牛ニ在リテハ日々体ノ梳拭ヲ嚴重ニ行ヒ汚染甚シキ部分ハ水或ハ微温湯ヲ以テ洗滌シ運動ハ季節及榮養状態並ニ分娩前後等ニヨリ多少斟酌ヲ加ヘタルモ種牡牛ニ在リテハ牽運動或ハ繫索運動ヲ行ハシメ牝牛ニ在リテハ日々運動場

ニ出シテ少ナクトモ三時間以上逍遙運動ヲ課セリ
 豚鶏ニアリテハ雨雪烈シカラザル限リハ常ニ舍内ト運動場トノ間隔ヲ開放シテ自由ニ運動ヲ行ハシム種鶏ニ
 在リテハ冬季舍内ニ相當切藁ヲ敷キテ保温乾燥ヲ圖ルト共ニ搔床ヲ作リ搔發運動ヲナシメ附屬運動場ハ時
 々打超シ天地ヲ反轉シテ石灰乳ヲ撒布スル外新鮮ナル表土ノ更新ヲ行ヒタリ、舍内ノ清潔及空氣ニ就テハ常
 ニ注意ヲ拂ヒ年二回ノ洗滌及消毒ヲ勵行シ以テ動物ノ健康保全ニ努メタリ、畜牛豚ニハ敷藁ヲ給シ汚染甚シ
 キ部分ハ日々交換補給シ換氣調節ハ夏ハ冷涼ニ冬ニハ温暖ヲ保タシメ空氣ノ交流ヲ良好ナラシメタルモ愛護
 過度ニ失シテ體質ヲ羸弱ナラシメザルヤウ留意シ風雪寒ク又炎暑ノ際ト雖セ可成舍外ニ出シテ個体ノ抵抗力
 ヲ旺盛ナラシムルニ努メタリ、疾病ニ對シテハ特別ナル注意ヲ拂ヒ努メテ未然防遏スル策ヲ講ゼリ
 畜牛ノ護蹄ニ關シテハ常ニ留意シ年二回削蹄ヲ行ヒ以テ肢蹄ノ保全ヲ圖リ畜牛結核病検査ハ「ツベルクリン」
 ノ應用ニヨリ之ヲ行ヒ以テ畜牛ノ衛生上遺憾ナキヲ期セリ

第四章 乳肉加工

一 乳加工

生産牛乳ハ犢ノ哺乳ニ用ヒタル外一部ハ全乳トシテ拂下ヲ行ヒ殘余ハ「バター」製造及試験用ニ供シ脱脂乳ハ
 犢及豚鶏ニ利用シ又夏季ハ乳製飲料「クラフト」ヲ製造シ以テ殘乳處理ノ範ヲ示セリ

イ バター製造

月 別	試 験 乳 量	ク リ ー ム 量	生 産 バ タ ー 量
昭和十一年 四月	三三五、三〇〇	四二、三四〇	一一、九七五

月 別	試 験 乳 量	ク リ ー ム 量	生 産 バ タ ー 量
五月	三四七、二〇〇	四五、四一五	一〇、五七五
六月	二三四、七〇〇	三〇、二九〇	九、九〇〇
七月	一三九、四二〇	一八、四一八	五、六二五
八月	一〇二、三一五	一三、二七五	四、七二五
十二月	一五二、五〇〇	一六、五六一	四、〇五〇
昭和十二年 一月	七二八、六〇〇	八二、四八九	二〇、九二五
二月	八四四、〇〇〇	一〇〇、四三〇	二二、七二五
三月	七五四、四〇〇	九一、六七〇	二二、六五〇
計	三六二八、四三五	四四〇、八八八	一一一、一五〇

ロ 乳製飲料製造

加工渣乳量
 クラフト製造量

二三二、五三〇
 一、〇三八本
 但シ一本三〇〇瓦入

ニ 豚肉加工

本年度ニ於テ肉加工ニ供セシ豚ハ種豚トナス見込ナキ仔豚四頭ヲ育成セルモノ及老齡ノ爲其ノ他ノ廢豚三頭

計七頭ナリ其ノ加工製品及數量左ノ如シ

- 1 ソーセージ
- 2 塩豚
- 3 ラード

一七七 三七五
六七、八七五
三五、一七五

第五章 試験及調査

一、畜牛肥育試験

一、目的

飼料ニヨル肥育ノ状態ヲ精査スルト共ニ肉質ノ如何ヲ比較研究シ以テ肥育改良普及ノ資ニ供セントス

二 供用牛

試験区分	種類	名	號	性	年令	体	型	資	質	肉付程度
大麥區	改良和種	喜多號	牝	六歲	大型ニシテ各軀ノ對稱可 良ナルモ体軀ノ幅稍々不 足ノ感アリ	褐色毛ニシテ皮膚薄ク彈 力アリ角質良好 質中ノ中	質中ノ中	質中ノ中	質中ノ中	六合肉
大麥區	"	岡田號	牝	六歲	小型ニシテ体幅ニ乏シク 後軀淺シ	皮膚薄キモ彈力ナク角長 ク質下ノ上	質下ノ上	質下ノ上	質下ノ上	四合肉
大豆粕區	"	森號	牝	六歲	大型ニシテ中軀長ク後軀 ノ幅不足シ前勝ナリ	皮膚稍々硬ク被毛粗剛ニ シテ骨太ナリ質中ノ中	質中ノ中	質中ノ中	質中ノ中	六合肉
大豆粕區	"	長谷號	牝	四歲	中型ニシテ体幅ニ乏シク 長脚且ツ胸深淺シ	黒褐毛皮膚稍々粗厚被毛 又粗剛ナリ質下ノ上	質下ノ上	質下ノ上	質下ノ上	四合肉

標準區	水本號	牝	六歲	体型各軀對稱良好ナルモ 凹背ニシテ体一般ニ弛緩 ノ感アリ	褐色毛ニシテ皮膚薄ク彈 力アリ被毛軟カク角質良 好ナリ質中ノ上	六合肉
-----	-----	---	----	------------------------------------	---------------------------------------	-----

三 飼養

(一) 肥育期間

各區共肥育期間ヲ左ノ通り三期ニ分ケ肥育日數一〇〇日トセリ

第一期	第二期	第三期
四〇日	三〇日	三〇日

(二) 飼料

供試牛ノ飼料ハ縣内ニ於テ容易ニ求メラレ且ツ價格亦低廉ナルモノヲ選ビタリ即チ濃厚飼料トシテ
挽割大麥、豊年大豆粕、小麥麩、米糠ノ四種粗飼料トシテ稻藁、野子草ノ二種ヲ用ヒタリ
右各飼料ノ可消化養分含有量左ノ如シ

供用飼料可消化養分含有量

供用飼料名	乾物量	可消化		可消化	
		純蛋白質	澱粉價	粗蛋白質	粗脂肪
挽割大麥	八六、〇七%	七、〇二%	六八、四二	七、八〇	一、九八%
豊年大豆粕	八六、二〇	三八、二五	七五、二八	三九、一〇	一、七八
					炭永化物
					三五、〇三

小麥	八八、〇〇	一三、三七	四九、九〇	一五、五四	四、五八	三八、八一
無砂米糠	八六、四七	六、八五	五四、四六	七、七六	一四、二二	一七、八七
稻藁	八六、七〇	、六〇	一八、三〇	一、一〇	、五〇	三三、一〇
野干草	八六、二四	三、一〇	三九、一六	四、四五	、八九	四一、一四

(三) 飼養法

イ 飼料標準

飼料標準ハ「ケルネル」氏ノ肥臘標準ニ據リ体重一、〇〇〇斤ニ對シ一日量左ノ通りトセリ

乾物量	二四一三二斤	純蛋白質	一、五一、七斤	澱粉	一二、五一、四、五斤	價
-----	--------	------	---------	----	------------	---

ロ 飼料給與配合標準

飼料ノ給與量ハ各區共生体重一、〇〇〇斤ニ對シ一日分給與量ヲ示セリ
一、大麥區飼料給與標準

(1) 第一期

飼料名	給與量	乾物量	純蛋白質	澱粉價	粗蛋白質	粗脂肪	炭水化物	蛋白質比
-----	-----	-----	------	-----	------	-----	------	------

大麥	四、三五〇	三、七四四	、三〇五	二、九七六	、三三九	、〇八六	三、五三六	
穀	四、三五〇	三、八二八	、五八二	二、一七二	、六七六	、一九九	一、六八八	
米糠	五、八〇〇	五、一五三	、三九七	三、一五九	、四五〇	、八二五	一、〇三六	
稻藁	一五、〇〇〇	一三、〇一〇	、九〇〇	二、七四五	、一六五	、〇七五	四、九六五	
野干草	五、〇〇〇	四、三三三	、一五五	一、四五八	、二二三	、四〇〇	二、〇五七	
計	三〇、〇〇〇	一、五二九	二二、五〇九	一、八五三	一、三三〇	一三、二八二	一、一〇、四五	

(2) 第二期

飼料名	給與量	乾物量	純蛋白質	澱粉價	粗蛋白質	粗脂肪	炭水化物	蛋白質比
大麥	四、八〇〇	四、一三一	、三三七	三、二八四	、三七四	、〇九五	二、七九九	
穀	四、八〇〇	四、三三四	、六四二	二、三九五	、七四六	、二二〇	一、八六六	
米糠	六、四〇〇	五、五三四	、四三八	三、四八五	、四九七	、九〇六	一、一四四	
稻藁	一三、〇〇〇	一〇、四三四	、〇七二	二、一九六	、一三三	、〇六〇	三、九七二	
野干草	四、〇〇〇	三、四五〇	、二二四	一、一六六	、一七八	、〇三六	一、六四六	
計	二七、七四三	一、六二三	二二、五二六	一、九二六	一、三三七	一、四三七	一、一八、八八	

(3) 第三期

飼料名	給與量	乾物量	純蛋白質 ^可	澱粉價	粗蛋白質 ^消	粗脂肪	炭水化物 ^化	蛋白比
大麥	五、四九〇	四、七五五	、三八五	三、七五六	、四二八	、一〇九	三、一九九	
穀	五、四九〇	四、八三三	、七三四	二、七四〇	、八五三	、二五一	二、一三二	
米糠	七、三三〇	六、三三〇	、五〇一	三、九六六	、五六八	一、〇四一	一、三〇八	
稻藁	八、〇〇〇	六、八九九	、〇四八	一、四六四	〇、八八	〇、四〇〇	二、六四八	
野干草	二、〇〇〇	一、七五五	、〇六一	、五九二	、〇八九	〇、〇一八	、八三三	
計		二四、五二〇	一、七三〇	三、五五九	二、〇一六	一、四五九	一〇、一〇九	一、一七、七〇

七二

二、大豆粕飼料給與標準

(1) 第一期

飼料名	給與量	乾物量	純蛋白質 ^可	澱粉價	粗蛋白質 ^消	粗脂肪	炭水化物 ^化	蛋白比
大豆粕	三、五八〇	三、〇八六	一、三六九	二、六九五	一、四〇〇	、〇六四	一、二五四	
穀	五、〇一〇	四、四〇〇	、六六九	二、四九五	、七七七	、二三九	一、九四一	
米糠	五、七二〇	四、九四六	、三六〇	三、一五五	、四四〇	、八一三	一、〇三三	

(2) 第二期

飼料名	給與量	乾物量	純蛋白質 ^可	澱粉價	粗蛋白質 ^消	粗脂肪	炭水化物 ^化	蛋白比
稻藁	一五、〇〇〇	一三、〇一〇	、〇九一	二、四九五	、一六五	〇、七五	四、九六五	
野干草	五、〇〇〇	四、三二二	、一五五	一、四五六	、三三三	、〇四五	二、〇五七	
計		二九、七五四	二、六六三	三、五〇八	三、〇〇五	一、二三六	一、二三九	一、一五、二三

(3) 第三期

飼料名	給與量	乾物量	純蛋白質 ^可	澱粉價	粗蛋白質 ^消	粗脂肪	炭水化物 ^化	蛋白比
大豆粕	四、〇〇〇	三、四四八	一、五三〇	三、〇一一	一、五六四	、〇七一	一、四〇一	
穀	五、六〇〇	四、九六六	、七四九	二、七九四	、八七〇	、二五六	二、一七三	
米糠	六、四〇〇	五、五三四	、四三八	三、四八五	、四九七	、九一〇	一、一四四	
稻藁	一三、〇〇〇	一〇、四〇四	、〇七一	二、一九六	、一三二	〇、六〇	三、九七二	
野干草	四、〇〇〇	三、四五〇	、二一四	一、一六六	、一七一	〇、三六	一、六四六	
計		二七、七六四	二、九三三	三、六五二	三、二四二	一、三三三	一〇、三三六	一、一四、五五

七三

飼料名	給與量	乾物量	純蛋白質	澱粉價	粗蛋白質	粗脂肪	炭水化物	蛋白質比
大豆粕	四、五〇〇	三、八七九	一、七二二	三、三八八	一、七六〇	〇、八	一、五七六	
穀	六、三〇〇	五、四六四	八四三	三、一四四	九七九	二、八九	二、四五	
米糠	七、一〇〇	六、三二二	四九三	三、九二一	五五九	一、〇二四	一、三〇五	
稻藁	八、〇〇〇	六、九三六	〇、四八	一、四六四	〇、八八	〇、四〇	二、六四八	
野干草	二、〇〇〇	一、七三五	〇、〇二	五、八三	〇、八九	〇、一八	八、三三	
計		二四、三六六	三、一六六	二二、五〇〇	三、四七五	一、四五二	八、七九七	一、一三、七六

三、標準區飼料給與標準
(1) 第一期

飼料名	給與量	乾物量	純蛋白質	澱粉價	粗蛋白質	粗脂肪	炭水化物	蛋白質比
大豆粕	一、四〇〇	一、一〇五	〇、八九	九、九八	一、〇九	〇、二八	八、一六	
大麥	三、五〇〇	三、〇一七	一、三三九	二、六三五	一、三六九	〇、六二	一、三二六	
穀	四、九〇〇	四、三二二	六、五五	二、四四五	七、六三	二、二四	一、九〇二	
米糠	四、二〇〇	三、六三三	二、八八	二、二八七	三、三六	五、九七	七、五二	
稻藁	一、五〇〇	一、三〇、〇五	〇、〇九	二、七四五	一、六五	〇、七五	四、九六五	
計		二九、四八三	二、六六六	二二、五八	二、九九四	一、〇三二	二一、七七	一、一五、〇一

飼料名	給與量	乾物量	純蛋白質	澱粉價	粗蛋白質	粗脂肪	炭水化物	蛋白質比
大豆粕	三、一〇〇	二、六六八	三、三六六	三、五九二	二、九二	〇、六一	一、八〇八	
大麥	三、一〇〇	二、六七二	一、〇〇〇	一、九七二	一、〇二四	〇、五五	一、〇八六	
穀	四、六五〇	四、〇九二	五、八六	二、一八六	六、八一	二、二二	一、八〇五	
米糠	四、六五〇	四、〇二二	三、六〇	二、八五九	四、〇七	六、六一	八、三二	
稻藁	二、二〇〇	一、〇、四〇四	〇、四八	一、四六四	〇、八八	〇、六〇	三、九七三	
野干草	四、〇〇〇	三、四五〇	〇、六二	五、八三	〇、八九	〇、三六	一、六四六	
計		二七、三〇七	二、四二七	二二、六五六	二、六九九	一、〇八六	二一、二四八	一、一五、三九

(2) 第二期

飼料名	給與量	乾物量	純蛋白質	澱粉價	粗蛋白質	粗脂肪	炭水化物	蛋白質比
大豆粕	三、一〇〇	二、六六八	三、三六六	三、五九二	二、九二	〇、六一	一、八〇八	
大麥	三、一〇〇	二、六七二	一、〇〇〇	一、九七二	一、〇二四	〇、五五	一、〇八六	
穀	四、六五〇	四、〇九二	五、八六	二、一八六	六、八一	二、二二	一、八〇五	
米糠	四、六五〇	四、〇二二	三、六〇	二、八五九	四、〇七	六、六一	八、三二	
稻藁	二、二〇〇	一、〇、四〇四	〇、四八	一、四六四	〇、八八	〇、六〇	三、九七三	
野干草	四、〇〇〇	三、四五〇	〇、六二	五、八三	〇、八九	〇、三六	一、六四六	
計		二七、三〇七	二、四二七	二二、六五六	二、六九九	一、〇八六	二一、二四八	一、一五、三九

(3) 第三期



計	野干草	稻藁	米糠	穀	大豆粕	大麥
二、二六七	一、七五	六、九六	二、三七六	二、八五四	二、二六九	四、五九
二、四二七	〇、六一	〇、四八	三、三〇	五、六六	一、〇〇〇	三、六九
二、六五六	五、八三	一、四六四	二、八五九	二、一八六	一、九七二	三、五九二
二、六九九	〇、八九	〇、八九	四、〇七	六、八一	一、〇二四	四、一〇
一、一五七	〇、〇八	〇、四〇	七、四七	二、二二	〇、四七	一、一四
一、〇八八	八、二八	二、六四八	九、三八	一、六九四	九、一九	三、〇六一
一、一五、二〇						

(四) 飼料ノ調理及給與法

飼料ノ調理及給與法ハ各區共稻藁三種前後ニ之ヲ裁切シ熱湯ニ浸シテ柔軟ナラシメ更ニ夫々配合濃厚飼料ヲ加ヘ能ク攪拌シ且ツ干草ヲ稍々粗ニ切りテ之ニ混配ノ上齊一ヲ計リ斯クシテ最後ニ適量ノ温湯ヲ注加シ全体ヲ微温ナラシメ第一期第二期ハ午前七時午前十時半午後五時ノ三回ニ分與シ第三期ニハ右ノ外午後九時ノ四回トシテ給與セリ、尙給水ハ食後温湯トシテ充分給與セリ

各試験牛ニ給與シタル配合飼料量ハ毎十日前ニ調査シタル体重及各畜牛個体ノ状態ヲ斟酌シ前記ノ生体重一〇〇〇斤ニ對スル一日給與標準ニ基キ之ヲ定メ給與シタル今各試験牛ニ給與シ且ツ採食シタル各飼料ノ一日給與量及總給與採食量ヲ示セバ左ノ如シ

各試験牛ニ對スル飼料給與表

一、喜多號 (大麥區)

期別	給與期間	日數	體重	給與量						
				大麥	大豆粕	穀	米糠	稻藁	野干草	食鹽
第一 期	自九月十六日至九月二十五日	一〇日	三六、二五	一、六三六		一、六三六	二、二八二	五、六四二	一、八八一	六〇
	自九月二十五日至十月五日	一〇日	三八七、七五	一、六八七		一、六八七	二、二四九	五、八一七	一、九三九	六〇
	自十月五日至十月十五日	一〇日	四〇〇、六五	一、七八六		一、七八六	二、三八二	六、一五九	二、〇五三	六〇
	自十月十五日至十月二十五日	一〇日	四一六、二五	一、八二一		一、八二一	二、四一四	六、二四四	二、〇八一	六〇
	計		四〇日	六九、一〇〇		六九、二〇〇	九二、二六〇	二三八、六二〇	七九、五四〇	二、四〇
第二 期	自十一月四日至十一月十四日	一〇日	四二九、三七五	二、〇六一		二、〇六一	二、七四八	五、一五三	一、七二八	六〇
	自十一月十四日至十一月二十四日	一〇日	四三五、七五〇	二、〇九二		二、〇九二	二、七八九	五、二二九	一、七四三	六〇
	自十一月二十四日至十一月三十四日	一〇日	四四四、三七五	二、一三三		二、一三三	二、八四四	五、三三二	一、七七七	六〇
	計		三〇日	六二、八六〇		六二、八六〇	八三、八一〇	一五七、一四〇	五、三三〇	一、八〇
	第三 期	自十一月二十五日至十二月四日	一〇日	四五、一二五	二、四七七		二、四七七	三、三〇二	三、六〇九	九〇二
自十二月四日至十二月十五日		一〇日	四四、一二五	二、四四四		二、四四四	三、二五八	三、五六一	八九〇	六〇
計			二〇日	二、四四四		二、四四四	三、二五八	三、五六一	八九〇	六〇
計			三〇日	六二、八六〇		六二、八六〇	八三、八一〇	一五七、一四〇	五、三三〇	一、八〇
計			四〇日	六九、一〇〇		六九、二〇〇	九二、二六〇	二三八、六二〇	七九、五四〇	二、四〇

期	自十二月二十五日		期	自十二月二十四日		合	計							
	計	體重		計	體重		計	體重						
	100	456,750		100	456,750	100	216,250	206,500	74,290	2,508	3,343	2,654	1,914	60
	30	74,290		30	74,290		26,350	275,110	108,240	27,060	108,240	108,240	27,060	180

二、岡田 號 (大麥區)

期別	給與期間		日數	體重	給與		日	量		
	給	與			大麥	大豆粕			米糠	稻藁
第 一 期	自十二月二十一日	至十二月二十一日	1	296,250	1,191	1,191	1,191	4,444	1,481	60
	自十二月二十日	至十二月二十日	1	296,250	1,289	1,289	1,289	4,444	1,599	60
	自十二月二十日	至十二月二十一日	2	592,500	2,488	2,488	2,488	8,888	3,080	120
計			4	1,185,000	5,068	5,068	5,068	17,776	6,259	240
第 二 期	自十一月十九日	至十一月十九日	1	322,750	1,500	1,500	1,500	3,753	1,151	60
	自十一月十九日	至十一月二十日	2	645,500	3,000	3,000	3,000	7,506	2,302	120
計			3	971,250	4,500	4,500	4,500	11,259	3,453	180
合 計			100	2,156,250	9,568	9,568	9,568	29,035	9,712	420

期	自二月十八日		期	自二月十九日		合	計						
	計	體重		計	體重		計	體重					
	100	337,500		100	337,500	100	1,853	1,853	2,470	2,700	670	60	
	30	350,625		30	350,625		1,925	1,925	2,566	2,805	701	60	
	10	352,125		10	352,125		1,935	1,935	2,580	2,820	705	60	
計		1,040,250		100	1,040,250		5,713	5,713	7,616	8,325	2,106	180	

三、森 號 (大豆粕區)

期別	給與期間		日數	體重	給與		日	量		
	給	與			大豆粕	大麥			米糠	稻藁
第 一 期	自九月十六日	至九月十六日	1	376,100	1,346	1,346	1,346	5,648	1,883	60
	自九月二十五日	至九月二十五日	1	396,000	1,426	1,426	1,426	5,940	1,980	60
	自九月二十六日	至九月二十六日	1	396,000	1,451	1,451	1,451	6,066	2,028	60
	自十月五日	至十月五日	1	405,750	1,451	1,451	1,451	6,066	2,028	60
	自十月十五日	至十月十五日	1	405,750	1,451	1,451	1,451	6,066	2,028	60
	自十月二十五日	至十月二十五日	1	411,000	1,521	1,521	1,521	6,300	2,100	60
計			7	2,395,600	8,646	8,646	8,646	33,970	11,099	420
第 二 期	自十一月十四日	至十一月十四日	1	439,500	1,758	1,758	1,758	5,274	1,758	60
	自十一月二十四日	至十一月二十四日	1	439,500	1,758	1,758	1,758	5,274	1,758	60
計			2	879,000	3,516	3,516	3,516	10,548	3,516	120
合 計			100	3,274,600	12,162	12,162	12,162	44,518	14,615	540

期別	給與期間	日數	體重	五、水本號 (標準區)		期三第		期二第	
				計	計	計		計	
						自	至	自	至
第一	自九月十六日至九月二十五日	一〇	三九、二五	大豆	一、二七	二、五九	二、三三	四、四一〇	一、四七〇
	自九月二十六日至十月五日	一〇	三三、六五	大豆	一、一八	二、五九	二、四〇	四、五〇〇	一、五〇三
	自十月六日至十月十五日	一〇	三五、二五〇	大豆	一、二四	一、七四	一、四九	四、四九	一、四七〇
計		三〇	一〇六、一六五	大豆	三、六八	七、九一	六、一四	一三、四〇	四、四四三
合		一〇〇	一、四一〇、〇〇〇	大豆	一、四七〇	二、〇九	二、三五	四、四一〇	一、四七〇

期別	給與期間	日數	體重	四、長本號 (大豆粕區)		期三第		期二第	
				計	計	計		計	
						自	至	自	至
第一	自九月十六日至九月二十五日	一〇	二七、三五〇	大豆	一、二七	二、五九	二、三三	四、四一〇	一、四七〇
	自九月二十六日至十月五日	一〇	三三、六五	大豆	一、一八	二、五九	二、四〇	四、五〇〇	一、五〇三
	自十月六日至十月十五日	一〇	三五、二五〇	大豆	一、二四	一、七四	一、四九	四、四九	一、四七〇
計		三〇	一〇六、一六五	大豆	三、六八	七、九一	六、一四	一三、四〇	四、四四三
合		一〇〇	一、四一〇、〇〇〇	大豆	一、四七〇	二、〇九	二、三五	四、四一〇	一、四七〇

期	計		期二第			期三第			計	合
	自十月二十五日	至十月二十六日	自十一月十四日	自十一月十五日	自十一月二十四日	自十一月二十五日	自十二月四日	自十二月十五日		
期	10	37,500	19,350	1,268	48,350	67,690	56,000	207,230	69,080	240
計										
期二第										
自十一月十四日	10	37,875	1,268	1,268	1,753	1,753	4,523	1,518	60	
自十一月十五日	10	39,375	1,210	1,210	1,815	1,815	4,684	1,562	60	
自十一月二十四日	10	40,625	1,259	1,259	1,889	1,889	4,873	1,625	60	
計	30	117,875	3,736	3,736	5,447	5,447	14,080	4,705	180	
期三第										
自十二月四日	10	44,375	2,176	1,088	1,813	2,176	3,335	88	60	
自十二月十五日	10	45,625	2,234	1,127	1,861	2,234	3,405	852	60	
自十二月二十五日	10	43,500	2,161	1,130	1,884	2,260	3,444	861	60	
計	30	133,500	6,571	3,345	5,557	6,670	10,183	2,547	180	
合	100		133,410	118,070	177,840	179,410	449,660	141,430	6,000	

(四) 管理

(イ) 畜舎

畜舎ハ間口一〇米奥行五米四六ノ木造亞鉛葺平屋建ニシテ舎内ニ間口一米八二奥行二米七三ノ牛房四室ヲ設

ケ各房ハ經一二種ノ丸太棒ヲ以テ區劃シ其ノ前方二一米八〇後方二〇米九〇ノ通路ヲ設ケ一ハ飼料給與ニ一ハ牛糞ノ排除ニ當テ尙各房ノ前ニ一米二〇ノ出入口ヲ設ケ牛体ノ手入及牛ノ出入ニ便ナラシメタリ又舎内ニ八九、九平方米ノ飼料置場並ニ調理所ヲ設ケ飼料ノ調理及配合ヲ行ヘリ、更ニ舎外南面ニ八九米〇九一〇米ノ棚ヲ圍シ九〇、七五平方米ノ運動ノ設ケアリ

(ロ) 管理ノ概要

- 肥育期間中保温ト換氣ニ注意シ牛舎ハ第二期ヨリ黒布ヲ下ケ稍々暗クシ外物ニ依ル感作刺戟ヲ避ケシメタリ尙畜牛ノ取扱ハ懇切温和ヲ旨トシ粗暴輕舉ノ行爲ヲ絶對ニ戒メ牧夫各自ノ擔當ヲ定メ以テ趣味ノ涵養ト肥育ニ關スル普通常識ノ養成ニ努メ主トシテ擔當牛ノ手入牽運動ヲナサシメタリ
- 管理法ニ就テハ左記條項ヲ遵守セシメタリ
- 一、舎内ハ常ニ攝氏十五度内外ノ温度ヲ保タシムルコト
 - 二、第一期間ニ於テハ天氣晴朗ノ日ハ一時間運動場ニ於テ逍遙運動ヲ課シ第二期ニ於テ健康狀態ニ應ジ時々牽運動ヲ行ヒ第三期ニハ運動ヲ課セズ充分安靜ニ保タシムルコト
 - 三、敷藁ハ毎日一回糞尿ニ汚染シタル部分ヲ取除キ新シキモノヲ補充スルコト
 - 四、体重ハ朝飼料給與前ニ衡量シ体各部ノ測定ハ午後二時ニ行ヒ十日目毎ニ之ヲナスコト
 - 五、飼料給與回数ハ一日三回第三期ニ於テハ四回トシ給與量ハ体重ニ應ジ十日目毎ニ之ヲ決スルコト
 - 六、毎日食前擔當者ヲシテ牛体ヲ充分摩擦セシメ血行ヲ良好ニシ且ツ皮下脂瘤ノ貯留ヲ防グコト
 - 七、舎内ハ日光ノ直射ヲ避ケ且ツ賊風ノ浸入ヲ防グコト
 - 八、常ニ採食反芻ノ狀態其ノ他一般ノ動作ニ注意スルコト

(五) 肥育成績

(イ) 肥育前後ノ体重及各部測定比較

測定名	喜多號 (大麥區)		岡田號 (大麥區)		森號 (大豆粕區)		長本號 (大豆粕區)		水本號 (標準區)	
	試驗前	試驗後	試驗前	試驗後	試驗前	試驗後	試驗前	試驗後	試驗前	試驗後
體重	三七六、 _五	四六六、 _五	二七三、 _〇	三五九、 _五	三七六、 _五	四七五、 _〇	二七三、 _五	四三三、 _五	三一九、 _五	四三三、 _五
增加量	九〇、 _五	七五、 _〇	七五、 _〇	八五、 _〇	五〇、 _〇	九〇、 _〇	七五、 _〇	〇〇、 _〇	一一五、 _〇	六二、 _五
体高	二二五、 _一	二二六、 _〇	二二八、 _八	二二九、 _〇	二二五、 _一	二二六、 _三	二二〇、 _六	二二三、 _四	二二二、 _〇	二二二、 _五
十字部高	二二四、 _八	二二六、 _三	二一九、 _一	二二〇、 _〇	二二五、 _四	二二六、 _九	二二〇、 _九	二二三、 _一	二二二、 _二	二二二、 _二
胸圍	一六八、 _〇	一八四、 _五	一六九、 _五	一七五、 _五	一七四、 _〇	一九三、 _五	一九五、 _〇	一八五、 _〇	一六五、 _〇	一八七、 _五
腹圍	二〇七、 _〇	二二六、 _五	一九八、 _〇	二一〇、 _〇	二〇二、 _五	二二三、 _五	二二〇、 _〇	二一六、 _一	二一九、 _三	二一三、 _六
胸深	六八、 _七	七三、 _五	六三、 _〇	六五、 _七	六八、 _四	七三、 _五	五、 _一	六〇、 _〇	六八、 _一	六九、 _〇
胸幅	三六、 _〇	四五、 _〇	三三、 _〇	三八、 _四	三七、 _五	四五、 _三	七、 _八	二八、 _五	三九、 _〇	三九、 _九
腰角幅	四二、 _六	四五、 _一	四二、 _〇	四五、 _六	四五、 _〇	四八、 _〇	三、 _〇	四〇、 _五	四二、 _〇	四五、 _〇
腕幅	四六、 _二	四八、 _〇	一、 _八	四三、 _二	四二、 _九	四九、 _五	六、 _六	四一、 _七	四五、 _六	四〇、 _五
坐骨幅	二五、 _八	三〇、 _〇	四、 _二	二八、 _五	二六、 _四	三一、 _五	五、 _一	一八、 _〇	二二、 _〇	二五、 _五
尻長	四七、 _一	四八、 _〇	〇、 _九	四八、 _九	四八、 _六	五一、 _〇	二、 _四	四四、 _一	四八、 _三	四八、 _九
体長	一四七、 _〇	一五六、 _〇	九、 _〇	一五〇、 _〇	一五〇、 _〇	一六〇、 _五	一〇、 _五	一四四、 _〇	一五六、 _三	一二三、 _二

(ロ) 肥育中ニ於ケル体高、体重胸圍ノ増加狀況

日	喜多號 (大麥區)		岡田號 (大麥區)		森號 (大豆粕區)		長本號 (大豆粕區)		水本號 (標準區)	
	体高増	体重増	体高増	体重増	体高増	体重増	体高増	体重増	体高増	体重増
十日目	一一、 _六	二一、 _五	一一、 _五	二二、 _五	一九、 _五	三〇、 _〇	一一、 _五	二〇、 _〇	一九、 _五	三〇、 _〇
二十日目	三四、 _五	三〇、 _〇	三〇、 _〇	三〇、 _〇	二九、 _五	六〇、 _〇	三〇、 _〇	三〇、 _〇	三〇、 _〇	三〇、 _〇
三十日目	〇、 _三	三四、 _一	八、 _一	三四、 _八	四三、 _五	七、 _五	八、 _二	八七、 _五	四八、 _〇	三七、 _五
四十日目	五三、 _二	五三、 _〇	二一、 _〇	三九、 _〇	〇、 _三	三三、 _二	〇、 _六	七三、 _〇	六、 _一	五七、 _〇
五十日目	五九、 _六	五九、 _五	一三、 _五	四五、 _〇	六三、 _〇	九、 _〇	〇、 _九	一〇、 _一	七、 _五	七、 _〇
六十日目	〇、 _六	六六、 _一	一五、 _〇	五三、 _二	六三、 _〇	一、 _五	〇、 _九	一一、 _一	八、 _七	八、 _七
七十日目	七五、 _〇	七五、 _〇	五、 _四	六三、 _七	〇、 _六	一五、 _六	一、 _二	一三、 _九	二、 _〇	九、 _五
八十日目	〇、 _九	九〇、 _〇	一六、 _二	〇、 _六	〇、 _八	一五、 _五	一、 _五	一三、 _八	二、 _〇	二、 _〇
九十日目	八〇、 _六	八〇、 _五	七、 _八	七八、 _七	九二、 _二	一八、 _〇	一四、 _六	一四、 _四	二、 _二	二、 _二
百日目	〇、 _九	九〇、 _七	一六、 _五	〇、 _六	一、 _二	一九、 _五	一、 _八	一六、 _五	〇、 _九	二、 _六

一、喜多 (ハ) 体重一疚當り増加ニ要シタル飼料ノ澱粉價及價格並ニ飼料ノ種類別單價
號 (大麥區体重増加量九〇、七五〇疚)

飼料名	一疚當單價	期間中ニ於ケル給與飼料		體重一疚増加ニ要シタル飼料	
		總給與量	總金額	給與量	價格
大麥	九、三	二〇六、三五〇	一九、一九	二、二七四	二、二五
穀	六、一	二〇六、三五〇	三、五九	二、二七四	一、三八七
米糠	三、五	二七五、一一〇	九、六三	三、〇三三	一〇、六一
稻藁	〇、五	五〇四、〇〇〇	二、五三	五、五五四	二、七六
野干草	二、四	一五八、九八〇	三、八二	一、七五三	四、二〇
食鹽	六、〇	六、〇〇〇	三、六	〇、六六	四、〇
計			四八、二	五三、五七六	五三、〇
					五、八六八

二、岡田 號 (大麥區体重増加量八五、五〇〇疚)

飼料名	一疚當單價	期間中ニ於ケル給與飼料		體重一疚増加ニ要シタル飼料	
		總給與量	總金額	給與量	價格
大麥	九、三	一五四、五六〇	一三、四七	一、八〇八	一六、八一
穀	六、一	一五四、五六〇	九、四三	一、八〇八	一一、〇三
米糠	三、五	二〇六、〇五〇	七、二二	二、四一〇	八、四四
稻藁	〇、五	三七五、六二〇	一、八八	四、三九三	二、二〇
野干草	二、四	一八、二二〇	二、八四	一、三八三	三、三三
食鹽	六、〇	六、〇〇〇	三、六	〇、七〇	四、二
計			三五、一九	三九、三二	四、二二
					四、六五八

三、森 號 (大豆粕區体重増加量九九、〇〇〇疚)

飼料名	一疚當單價	期間中ニ於ケル給與飼料		體重一疚増加ニ要シタル飼料	
		總給與量	總金額	給與量	價格
大豆粕	九、八	一七三、〇三〇	一六、九六	一、七四八	一七、二二
穀	六、一	二四一、三三〇	一四、七六	二、四六七	一五、〇五
米糠	三、五	二七六、八三〇	九、六九	二、七九六	九、七九
稻藁	〇、五	五一〇、二七〇	二、五五	五、一五五	二、五七
野干草	二、四	一六〇、八六〇	三、八六	一、六二五	三、九〇
計					
					四、七四

食 塩	六、〇	六、〇〇〇	三六	〇六〇	三六
計			四八、二〇	五四三、八三五	四八、七九

四、長 本 號 (大豆粕區体重増加量一五〇、〇〇〇疋)

飼料名	一疋當單價	期間中ニ於ケル給與飼料		体重一疋増加ニ要シタル飼料	
		總給與量	金額	給與量	價格
大豆粕	九、八	一四五、五三〇	一四、二六	九七〇	九八一
穀	六、一	二〇三、七〇〇	一三、四三	一、三五六	八、二八
米 糠	三、五	二三三、八三〇	八、一五	一、五五三	五、四四
稻 藁	〇、五	四六、六七〇	二、〇八	二、七七八	一、三九
野干草	二、四	一三二、二九〇	三、一七	八八二	二、二一
食 塩	六、〇	六、〇〇〇	、三六	〇、四〇〇	、二四
計			四〇、四五	四三七、八八五	二七、二七

五、水 本 號 (標準區体重増加量一一六、六二五疋)

飼料名	一疋當單價	期間中ニ於ケル給與飼料		体重一疋増加ニ要シタル飼料	
		總給與量	金額	給與量	價格
大豆粕	九、三	二二、四二〇	二、一三九	一、〇四九	九、七六
穀	六、一	一七、八四〇	一、〇八五	一、五二六	九、二五
米 糠	三、五	一七九、四一〇	六、二八	一、五三九	五、三九
稻 藁	〇、五	四四九、六六〇	二、二五	三、八五六	一、九三
野干草	二、四	一四一、四三〇	三、三九	一、二一〇	二、九〇
食 塩	六、〇		、三六	、〇五一	、三一
計			四六、〇九	四七二、〇二	三九、四六

(二) 解 体 成 績
A) 枝肉量及屠肉歩合

試驗區分	名 號	試驗完了時生体重	屠殺時直前生体量	枝肉量	屠肉歩合
大麥區	喜多號	四六六、八七五	四六三、五〇〇	二六八、三六五	五八、三
大麥區	岡田號	三五九、二五〇	三五六、二五〇	一八〇、九七七	五、八〇
大豆粕區	森 號	四七五、五〇〇	四七五、二〇〇	二七七、九九一	五八、五〇

大豆粕區	長本號	四三、七五〇	四三、六三〇	二四四、一〇〇	五七、六二
標準區	水本號	四三、七五〇	四三、九二〇	二五六、四九〇	五八、八五

(B) 枝肉ノ外親及肉質

試分區	名號	枝肉ノ外親	肉質
大麥區	喜多號	脂肪層薄キモ白色脂肪相當ニ附着シ筋肉ノ發育良好ナリ	色澤良好筋纖維細密ニシテ脂肪爽雜多ク硬度良好肉質中ノ上
大麥區	岡田號	脂肪層薄ク筋肉ノ發育良好ナラズ	筋纖維細密ニシテ脂肪ノ爽雜稍々可ナルモ肉色良好ナラズ肉質中ノ下
大豆粕區	森號	脂肪層厚ク微ニ帶黃白色ヲ呈シ筋肉ノ發育良好ナリ	筋纖維稍々太ク且ツ脂肪爽雜稍々粗ナルノ憾アリ肉色良好硬度可肉質中ノ中
大豆粕區	長本號	脂肪層厚ク微ニ帶黃白色ヲ呈シ筋肉ノ發育良好ナリ	筋纖維粗ニシテ爽雜脂肪量多ク肉質中ノ中
標準區	水本號	脂肪色澤白色ヲ呈シ脂肪附着ノ狀態均等筋肉發育良好ナリ	色澤良好脂肪筋肉間ニ夾錯シ筋纖維細密肉質上ノ上

(ホ) 收支計算ノ部

科目	(大麥區) 喜多號	(大麥區) 岡田號	(大豆粕區) 森號	(大豆粕區) 長本號	(標準區) 水本號	計	備考
肥育素牛購入費	一七〇、〇〇	一一五、〇〇	一七〇、〇〇	一五五、〇〇	一一〇、〇〇	七〇〇、〇〇	

科目	喜多號	岡田號	森號	長本號	水本號	計	備考
飼料費	四八、一一	三五、一九	四八、二〇	四〇、四五	四六、〇九	二二八、〇四	
敷薬費	三〇、〇〇	三〇、〇〇	三〇、〇〇	三〇、〇〇	三〇、〇〇	一五〇、〇〇	
計	三二一、一一	一六三、一九	三三二、一〇	一五五、四五	一六九、〇九	九三三、〇四	

収入ノ部

科目	喜多號	岡田號	森號	長本號	水本號	計	備考
肥育牛賣却代	二五、〇〇	二七、〇〇	三〇、〇〇	一九三、〇〇	二二三、〇〇	九八八、〇〇	
厩肥生産見積價額	一六、〇〇	一六、〇〇	一六、〇〇	一六、〇〇	一六、〇〇	八〇、〇〇	一頭一日八貫一貫二錢ト見積リ一頭百日間八〇〇貫生産五頭分四〇〇貫分
計	二四一、〇〇	一五三、〇〇	二三六、〇〇	二一九、〇〇	二三九、〇〇	一〇六八、〇〇	

差引

損益	(大麥區) 喜多號	(大麥區) 岡田號	(大豆粕區) 森號	(大豆粕區) 長本號	(標準區) 水本號	計	備考
損	一九、八九	△一〇、一九	一四、八〇	五、五五	五九、九一	一三四、九六	△印ハ缺損ヲ示セリ

一頭平均二六圓九拾九錢二厘ノ利益

二 稻作 厩肥 試驗

一、目的

本試驗ハ各家畜家禽ノ厩肥ヲ稻作ニ施用シテ其ノ肥効ヲ考究スルト共ニ畜力ノ利用ニ依リ中耕除草ヲ行ヒ有畜農業經營指導ノ參考ニ供セントスルニアリ

二、試驗面積

一區劃五畝步宛四區即チ計二反步

三、插秧期日

六月二十一日

四、供試品種

福井銀坊主

五、植付方法

混合區ヲ除キタル三區ハ畜力利用ニ依リ二桁三聯式轆車中耕除草機(本縣農事試驗場考案)ヲ使用シタルヲ以テ埒間四五、五種引埒一五、〇種ノメートル網ヲ使用シ稻苗一株二本宛植付ク混合區ハ普通ノ植付法ニヨリ中耕除草ハ全々人力ヲ以テセリ

六、施肥量及成分量

區別	一〇アール當肥料量				一〇アール肥料含有成分量				備考
	厩肥	畜尿肥	過磷酸灰	人糞尿	窒素	磷酸	加里	備	
牛肥區	一五〇 <small>斤</small>	五五五 <small>斤</small>	二二五 <small>斤</small>	一八七五 <small>斤</small>	九三九 <small>斤</small>	七三 <small>斤</small>	一、三五 <small>斤</small>	各區共厩肥ハ基肥トシ其他ハ二回ニ分施セリ	
豚肥區	一五〇〇	七五〇	三三、五	一八七五	九四七	七三	一、三六一		
雞肥區	一五〇〇	—	—	四五〇	五六、〇	九五六	七三八	一、一六四	

混合區	一、四四四	四五〇	一六、九	一五〇	—	九三七	七七	一、三三九
-----	-------	-----	------	-----	---	-----	----	-------

七、中耕及除草

區別	中耕		除草		備考
	第一回	第二回	第一回	第二回	
牛肥區	七月十六日	七月二十六日	七月十六日	七月二十六日	畜牛利用ニ依リ中耕除草
豚肥區	七月十六日	七月二十六日	七月十六日	七月二十六日	同
雞肥區	七月十六日	七月二十六日	七月十六日	七月二十六日	同
混合區	七月十六日	七月二十六日	七月十六日	七月二十六日	中耕除草ハ畜力ヲ利用セズ

備考 畜力利用中耕除草ノ三區ハ除草後ニ於ケル雜草ノ發生ハ人力ニ依ル混合區ニ比シ稍多シ

七、成績 大 要

(1) 成育及收量調査

區別	出穂期		成熟期	稈		莖		一〇アール當收量		一升ノ重量		品質		
	始	揃		全長	穂長	穂數	葉重量	粗容量	容米	摺歩合	粗		玄米	
牛肥區	八月三十日	九月五日	十月十六日	一六、〇 <small>厘</small>	二二、〇	一八、〇 <small>七</small>	七四、六 <small>五</small>	五、六 <small>九</small>	九二、八 <small>四</small>	九四、九 <small>五</small>	五〇、〇 <small>%</small>	九二 <small>一</small>	一四八 <small>五</small>	銀内

豚肥區	九月一日	九月六日	九月十七日	一〇七、五	二〇、四	一八、五六九、三七五	五、六九六、一、八四八〇	五〇、〇	九二〇	一四八三
雞肥區	九月一日	九月六日	九月十七日	二〇〇、〇	二〇、七	一八、〇六七、五〇〇	五、六九七、二、八四八三	五〇、〇	九〇六	一四八五
混合區	八月廿九日	九月四日	九月十五日	二〇〇、三	二〇、一	二〇、五七四、六〇五	五、六九五、二、八五三二	五〇、一	九一〇	一四八四
平均				二〇九、一	二〇、六	一八、八七一、五二六	五、六九七、二、八四八八		九〇九	一四八四

(2) 勞力調査

區別	男	女	畜牛	備考
水田	一〇アール當一二、七五 _A	二、五〇 _A	一、五 _B	本勞力ハ耕起ヨリ收穫調製迄ノ勞力ナリ 畜力ハ牛耕ハ一〇アール代掻中耕除草運搬等ニ利用

八、結論

イ 厩肥ノ肥効ト收量トノ關係

各家畜家禽厩肥ノ肥効ハ混合區最良ト認メラルルモ大体ニ於テ各區共大同小異ニシテ一〇アール當リ平均ニ石八斗四升八合八勺ノ收量ヲ得相當ノ成績ヲ納メタリト雖モ本試驗ハ第一回目ニ過ギザルニ依リ連年繼續シテ本關係ノ成績ヲ究メントス

ロ 金肥ノ節約

厩肥利用ニ依リ一〇アール當リ金肥僅ニ金七拾八錢ヲ施用シタルニ過キズ附近一般農家ノ金肥施用額一〇アール當九圓貳錢ニ比シ八圓貳拾四錢即チ九割一分四厘余ノ節約ヲ見タリ

ハ、中耕除草

中耕除草機ハ農事試驗場考案ノ二桁三聯式輾車式中耕除草機ヲ使用シタルニ一〇アール當リ所要時間二十二分ニシテ苗ノ倒伏ハ六〇株ナリシモ其ノ影響殆ンド認メザルノミナラズ勞力ニ於テ普通人手ニ依ル中耕除草ニ比シ五人八分ヲ節約スルヲ得タリ

三、鶏体量ト産卵トノ關係調査

鶏体量ガ産卵數及卵量ニ對シ如何ナル關係ヲ有スルカヲ知ランガ爲産卵二百五十日間後ニ於ケル單冠白色レグホーン種鶏百五十九羽ヲ秤量シ之ヲ調査セシニ左記ノ成績ヲ得タリ

イ 鶏体量ト産卵數及卵量トノ關係

(單冠白色レグホーン種二百五十日間産卵數)

体 量	羽 數	平均体重	産 卵		産 卵		重 量		
			最 多	最 少	最 大	最 小	平 均	一 箇 平 均	
一四〇〇以內	五	一三四〇	二四六	一六三	二〇四、〇	一三九七九、五	九三八、四	二二三四、八	五五、九
自一至一四〇〇	三	一五二二	二八二	一四三	二二五、五	一五二〇、〇	八六六、六	二二五七、二	五五、六
自一四〇〇至一六〇〇	三	一七二二	二九三	一三〇	三三七、〇	一六〇六、九	七三九、九	二二六二、二	五五、六
自一六〇〇至一八〇〇	五	一九二二	三〇二	一三九	三二八、五	一七六五〇、四	七八六、一	一三〇三、七	五七、〇
自一八〇〇至二〇〇〇	三	二〇二五	二八五	一七四	三三二、二	一七六七一、三	八一〇六、五	二二三八五、七	五七、五
自二〇〇〇至二二〇〇	一	二二〇五	二八二	二〇六	三四五、五	一六七〇、一	二二五〇、九	二四一九六、六	五七、八

計	一五九	一八〇三	三〇三	一三〇	二八、三	一七七一、三	七三九、九	二八六、四	五、四
---	-----	------	-----	-----	------	--------	-------	-------	-----

ロ 産卵数ト卵量及体量トノ關係

産卵數	羽數	産卵數		産卵重量		産卵体量	
		平均	最大	平均	最大	平均	最大
二〇〇卵以内	三	一六四、八	一八四五、五	六三九、三	九四七、三	二二〇	二九〇
自二〇一	二元	二二一、五	二四一四、四	一〇一四、〇	一一九〇七、二	二二九五	二七〇
自二二〇	三元	二二一、四	一四八〇〇、七	一一六三〇、三	一三三二五、九	二二六	二四〇
自二二四	三元	二二九、一	一五三六五、九	二二〇六、八	一三八七八、六	二二四五	二五六
自二六〇	三元	二七〇、〇	一七七一、三	二二五七、〇	一五〇六四、一	二二九〇	二四六〇
自二八〇以上	七	二八四、七	一七八三、九	二二四三、八	一五三三三、五	二二九〇	二五四五
計	一五九	二二八、〇	一七七一、三	六三九、三	一七八三、五	二二九五	二二九〇

以上ノ成績ニ依ルトキハ産卵重量ハ鷄体量ニ比例スルモノノ如キモ産卵能力ニ於テハ必ズシモ体量ノ輕重ニ關セザルモノノ如シ

第六章 埋芻飼料ノ調製

本年度ニ於ケル埋芻飼料製造作業ハ七月二十九日ヨリ八月十二日迄ニ於テ當場生産ノ玉蜀黍ヲ材料トシ裁斷

機ニ依リテ長サ三種内外ニ裁切シタルモノヲ均一ニ容内ニ敷キ詰メ一〇〇珽内外填充毎ニ踏壓ヲ以テソノ表面特ニ周圍ヲ充分ニ踏付ケ斯クシテ最上層部ニハ藎ヲ覆ヒ其ノ上ニ板ヲ並べ更ニ玉石ヲ載セテ重壓ヲ加ヘ内容物ノ空氣ニ接觸スルヲ豫防ス而シテ一月二十日ヨリ開容畜牛ニ給與セルニ製品ハ適度ノ酸味ト特有ノ香氣ヲ有シ好ンデ採食セリ

一、サイロノ形式及大サ

型式	幅員	周圍	底面積	高さ	容量
八角型	一、八五 ^米	六、〇八 ^米	二、八二八 ^{平方米}	三、九四 ^米	一一、一四四 ^{立方米}

二、サイロノ埋込成績

詰込月日	詰込量	生産量	生産率
七月二十九日	七八九五 ^担	六七二一 ^担	八五%
八月四日			
八月十二日			

第七章 耕作

一 農場經營ノ概況

本年度農場經營ノ概況ハ既定方針ニ基キ飼料作物ノ栽培ヲ行ヒ以テ粗飼料ノ自給ヲ圖レリ
飼料作物ノ作付反別ハ延四七三アールニシテ外ニ六五アールノ牧草栽培地ヲ有スレドモ當場飼養ノ家畜家禽數ニ比シ耕地面積狭小ナルガ故ニ極力土地ノ收約的利用ヲ計リ厩肥畜力利用ヲ徹底セシメ以テ農場經營ノ合

理化ヲ圖リ收穫ノ最大ヲ期セリ

二 飼料作物ノ栽培

當場飼料作物栽培ハ粗飼料ノ自給自足及試験ノ目的ヲ以テセリト雖モ牧草栽培地狭小ナルガ故ニ耕作牧草ノミニテハ充分ナラザルヲ以テ野草ヲ以テ補足スルノ状況ナリ、主ナル栽培牧草ハ「オーチャードグラス」レットクロバー」トス栽培作物ニハ表作ニ青刈燕麥、エンシレージ用玉蜀黍(ホワイトデントコーン)青刈大豆、燕麥、甘藷、馬鈴薯等ヲ栽培シ又裏作トシテハ甘藷、燕菁、聖護院大根、搔葉、青刈燕麥等ヲ栽培セシニ各種作物ノ發育及收量概シテ良好ナリキ

イ 飼料作物栽培成績

作物名	種類	延作付面積	播種法	當播種量	肥料施量	播種期	收穫期	收穫量
玉蜀黍	ホワイトコーン	二〇〇	点播	七、〇〇〇	厩肥 三、〇〇〇 尿肥 九〇〇	五月十二日	七月廿九日	四、五〇〇
青刈大豆	アバジン	三〇〇	條播	二〇、〇〇〇	厩肥 一、五〇〇 尿肥 一、〇〇〇	四月廿八日	七月一日	三、七五〇
青刈燕麥	リゴー	二〇〇	〃	一五、〇〇〇	厩肥 三、〇〇〇 尿肥 八〇〇	四月十六日 四月廿九日 六月七日 七月十五日	六月一日 七月五日 八月十日 九月十日	三、〇〇〇 六、〇〇〇
大探用豆	供金無種	五	点播	六、〇〇〇	厩肥 一、〇〇〇 尿肥 八〇〇	四月廿八日	十月廿三日	七〇〇
燕麥	リゴー	五	條播	二二、〇〇〇	厩肥 五〇〇 尿肥 八〇〇	四月十七日	八月五日	四〇〇

ロ 牧草收穫表

種類	面積	播種法	播種量	肥料施量	播種期	收穫期	收穫量
燕菁	五〇	摘播	一、八〇〇	厩肥 三、〇〇〇 尿肥 一、〇〇〇	八月廿九日	自十月	一、八七〇
甘藷	四一	植込	四〇〇〇	厩肥 五〇〇	六月廿四日	十一月一日	一、八七〇
馬鈴薯	三〇	〃	五二、五〇〇	厩肥 一、〇〇〇 尿肥 五〇〇	四月十日	七月一日	一、六〇〇
菊芋	二	畦	五〇、〇〇〇	厩肥 一、二〇〇 尿肥 八〇〇	五月五日	十一月十七日	二、四五〇
搔葉大根	五	摘播	一、五〇〇	厩肥 二、〇〇〇 尿肥 八〇〇	五月廿一日	六月以降	二、六八〇
菜種	一五	條播	一、六〇〇	厩肥 三、〇〇〇 尿肥 八〇〇	十月二十日	六月廿五日	二、〇〇〇
大麥	一五	〃	九、〇〇〇	厩肥 一、二五〇 尿肥 五〇〇	十一月十五日	六月七日	二、〇〇〇
小麥	二〇	〃	一〇、〇〇〇	厩肥 一、二五〇 尿肥 五〇〇	十一月十六日	六月七日	二、〇〇〇
大根	三五	摘播	八、七五〇	厩肥 七、〇〇〇 尿肥 二、八〇〇	八月十八日 八月廿八日	十二月一日 十一月十三日	六、九四〇 四、〇〇〇
ライ麥	一〇	條播	九、〇〇〇	厩肥 二、〇〇〇 尿肥 一、〇〇〇	九月廿六日	未收	二、五〇〇

牧草名	面積	播種法	播種量	肥料施量	播種期	收穫期	收穫量
オーチャードグラス	四〇	一番刈	三九三七、五	二六八七、五	一、二五、〇	計	二七、〇〇〇

レットクロバ	三五	三五五、〇	二五〇、〇	一、六七、五	七四六、〇	二八八〇、〇
--------	----	-------	-------	--------	-------	--------

100

ハ 農場作業使用人員月別表

月次	使用人員			備考
	常農夫	臨時男	臨時女	
四月	二四、〇	三二、〇	一	播種、中耕、植込厩肥、除草
五月	一、〇	二四、〇	二八、〇	播種、植込、中耕、除草、施肥
六月	一五、〇	二四、五	四五、〇	收穫、中耕、除草、施肥
七月	二四、〇	二九、〇	二二、五	植込、調製、中耕、除草埋草製造
八月	二五、二	六二、五	二〇、〇	播種、收穫、除草、施肥埋草製造
九月	一一、〇	五、五	一	播種、中耕、除草、施肥、間引、土寄
十月	二九、五	一〇、〇	一、五	播種、收穫、施肥
十一月	二九、〇	一八、五	六、五	收穫
十二月	一七、〇	一三、〇	三、〇	收穫、牛尿吸取
一月	一五、〇	一	一	草刈、厩肥堆積

月	計	備考
二月	二五、〇	一
三月	三〇、〇	一、五
計	二四五、七	一二八、〇

第八章 指導 奨励

一 質疑應答講習講話並實地指導

文書ニ依ル質疑應答ハ數十件ニ過ギザリシモ參觀ト質疑トヲ兼ネテ來場セルモノ多數ニシテ總テ懇切ニ實地ニ就キ指導及回答ヲ與ヘタリ
講習講話及實地指導ハ縣内十一郡ニ亘リ八十回九十八日ニ及ベリ
尙農事試驗場修練生二十一名及福井農林學校生徒三名ニ對シ七月二十日ヨリ二週間十二月十五日ヨリ一週間當場ニ於テ畜産ニ關スル實地及學科講習ヲ行ヒ有畜農業ノ技能並ニ一般畜産ニ關スル實際的智識技術ヲ体得セシメタリ
又盛岡高等農林學校生徒佐孝壽ハ七月十九日入場三週間ノ畜産實習ヲ終了セリ

第九章 庶務及會計

一 經費 (歲入)

目	節	豫算額	決算額

101

農夫給	八七六、〇〇	八一五、六七
小使給	三二八、〇〇	三〇五、九五
傭人料	二三六、〇〇	二三五、五三
惠與	一三九、〇〇	七〇八、〇〇
場費	九、五二〇、〇〇	八、九八六、七一
備品費	三四七、〇〇	三四七、〇〇
消耗品費	一、〇五一、〇〇	一、〇五〇、九二
肥育牛購入費	七〇〇、〇〇	七〇〇、〇〇
種豚購入費	八〇、〇〇	八〇、〇〇
種牛購入費	一、〇〇〇、〇〇	五〇〇、〇〇
種雛種卵購入費	九〇、〇〇	九〇、〇〇
肥料費	一〇、〇〇	九、八六
種苗費	二〇、〇〇	一九、九〇
飼料費	四、六四八、〇〇	四、六四七、三二

牛種付料	五〇〇、〇〇	三五八、〇〇
不用品賣却代	三一〇、〇〇	三二五、一〇
收穫物製作品賣却代	六、一六七、〇〇	五五九八、六九
計	六、九七七、〇〇	六二八一、七九
(歲出)		
俸給	四四八〇、〇〇	四四三六、八八
技師給	一、三〇〇、〇〇	一、二九九、九六
技師給	二、七〇〇、〇〇	二、五二六、九六
主事補給	四八〇、〇〇	六〇九、九六
雜給	五、一五一、〇〇	五、一八二、二二
技師旅費	三〇〇、〇〇	二九九、六二
技師旅費	六四三、〇〇	六四一、七〇
牧夫給	二、六二八、〇〇	二、一七五、七五
目節	豫算額	決算額

宿直 賄料	九一、二五	九一、二五
通信運搬費	二〇六、〇〇	一八四、一三
圖書印刷費	六〇、〇〇	五九、五〇
借地料	一、〇五八、〇〇	一、〇五七、九四
牽付費	一四五、〇〇	九一、三二
試驗費	四〇、〇〇	三九、九七
雜費	一八、〇〇	一七、六〇
修繕費	四〇一、〇〇	三九九、八五
家畜運動場柵修繕	一五〇、〇〇	一四九、九六
豚舎及鶏舎修繕	一八〇、〇〇	一七八、八九
壘表修繕	三四、〇〇	三四、〇〇
小破修繕	三七、〇〇	三七、〇〇

二場 職員

任命年月日	職	員	氏名
昭和十年五月二十一日	場長	地方農林技師	天井幸次郎
昭和三年四月一日		農林技手	佐藤彌太郎
昭和十年三月三十一日		農林技手	長谷川慶重
昭和四年三月三十一日		農林技手	鈴木誠
昭和六年三月三十一日		勸業主事補	栗生山磯次

採用年月日	備員	名	氏名
大正十五年八月五日 農手ヨリ轉	牧手	寺下九平	寺下九平
昭和二年十一月三十日	牧手	伊藤政名	伊藤政名
昭和九年八月二十五日	牧手	内藤武雄	内藤武雄
昭和十年四月六日	牧手	印牧忠雄	印牧忠雄
昭和十二年三月二十七日	牧手	北川與十郎	北川與十郎
昭和十一年十二月廿五日	牧手	富田竹志	富田竹志

郡市別	實地指導 回数 日數	講習講話 回数 日數	審査 回数 日數	調査 回数 日數	調査及検査 回数 日數	打合 回数 日數	其他 回数 日數
足羽郡	三	一	一	一	一	一	一
吉田郡	七	二	二	二	一	一	一
坂井郡	一三	五	二	六	八	二	三
大野郡	四	四	五	五	一	一	一
今立郡	五	八	二	一	三	一	一
丹生郡	五	七	三	二	二	一	二
南條郡	三	三	二	二	四	二	一
敦賀郡	四	四	一	一	四	一	一
三方郡	五	六	二	六	一	一	一
遠敷郡	六	七	一	二	七	一	二
大飯郡	三	三	二	三	四	一	一
計	五八	七三	二三	二五	二三	二四	二三

三職員出張		県内		八 八 備員ノ異動	
事由	由	備	名	氏	名
昭和十一年十一月八日 解備	牧	牧	手	辻	新之丞
昭和十一年九月卅日 解備	牧	牧	手	關	庄次郎
昭和十一年十二月廿五日 採用	牧	牧	手	富	田竹志
昭和十一年十二月廿六日 採用	牧	牧	手	吉	田幸男
昭和十二年三月二十七日 採用	牧	牧	手	北	川與十郎
昭和十一年十二月廿六日 昭和九年五月三日	小	農	使	松	下信男
昭和十一年十二月廿六日	牧	牧	手	吉	田幸男
昭和六年十二月二十五日	農	農	手	富	田與一

四 參觀人員

區分	官公吏	農及畜産業	學生生徒	其他	計
人員	七六 _人	八六三 _人	六九二 _人	一二 _人	一七五 _一

五 文書發收件數

發送 一、八六一件
 收受 一、四七八件

附 録

西	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

西
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

福井縣立種畜場職制

第一條 種畜場ハ左ノ業務ヲ行フ

- 一、種畜種禽ノ蕃殖並ニ育成ニ關スル事項
- 二、種畜種禽及種卵ノ貸付又ハ配付ニ關スル事項
- 三、種畜ノ種付並ニ牛馬ノ受託育成
- 四、家畜家禽ノ改良蕃殖及育雛ニ關スル試験
- 五、家畜家禽ノ肥臘法ニ關スル試験
- 六、乳製品及肉製品ニ關スル試験
- 七、家畜家禽ノ飼料ニ關スル試験
- 八、畜産ニ關スル講習講話及質問應答ニ關スル事項
- 九、見習生ノ養成ニ關スル事項

第二條 種畜場ニ左ノ職員ヲ置ク

場長

技師

技手

主事補

場長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 場長ハ知事ノ命ヲ受ケ職員ヲ指揮監督シ場全般ノ事務ヲ掌理ス

第四條 技師及技手ハ場長ノ指揮ヲ承ケ場務ニ従事ス

第五條 主事補ハ場長ノ指揮ヲ承ケ庶務及會計ニ關スル事務ニ従事ス
第六條 本場ノ業務執行ニ關スル規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル

附 則

本令ハ大正十一年四月一月ヨリ之ヲ施行ス

福井縣立種畜場處務規程

- 第一條 場長ハ事務處理ノ爲經伺ノ上場長處務細則ヲ設クルコトヲ得
第二條 場長ハ左ノ事項ヲ專行スルコトヲ得
一、職員ノ配置及事務分掌ニ關スルコト
二、職員ノ歸省看護墓參及轉地療養願ヲ許可シ又ハ除服出務ヲ命スルコト
三、職員ノ縣内出張ヲ命スルコト
四、豫定金額ニ於テ雇員以下ノ採用解免スルコト
五、其ノ他輕易ナルコト
第三條 場長ハ職員ノ進退功過ヲ知事ニ具申スルコトヲ得 但シ雇員以下ノ功過ニ付テハ經伺ノ上賞與又ハ懲戒ヲ行フモノトス
第四條 場長事故アルトキハ上席技手其事務ヲ代理スヘシ
第五條 場長ハ其ノ主管事務ニ付官公署其他ノ照會往復ヲナスコトヲ得
第六條 場長縣外ニ出張セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ職員ヲ縣外ニ出張セシメムトスルトキ亦同シ
事急ニシテ前項ノ手續ヲ經ル暇ナキトキハ其ノ事由ヲ開申スヘシ

- 第七條 場長ハ毎年二月末日迄ニ翌年度試驗調査ノ設計及事業計劃ヲ立テ知事ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ設計又ハ計劃ヲ變更セムトスルトキ亦同シ
第八條 試驗及調査ノ成績ハ其ノ結了ノ都度事務及業務功程報告書ハ年度終了後一箇月内ニ場長ヨリ知事ニ提出スヘシ

福井縣立種畜場處務細則

第一章 事務分掌

- 第一條 本場ニ左ノ係ヲ置ク
一、業務係
二、庶務係
第二條 各係ノ分掌事項左ノ如シ
業務係
一、種畜種禽蕃殖並ニ育成ニ關スル事項
二、種畜種禽及種卵ノ貸付又ハ配付ニ關スル事項
三、種付受託育成ニ關スル事項
四、家畜家禽ノ改良蕃殖及育雛試驗ニ關スル事項
五、家畜家禽ノ肥臘法及乳牛能力試驗ニ關スル事項
六、乳製品及肉製品ノ試驗ニ關スル事項
七、家畜家禽ノ飼料試驗ニ關スル事項
八、家畜家禽ノ衛生及畜舎ノ整理ニ關スル事項

- 九、耕作ニ關スル事項
 - 一〇、畜産ニ關スル講習講話及質疑應答ニ關スル事項
 - 一一、練習生ノ養成ニ關スル事項
 - 一二、畜産上特ニ必要ト認メタル事項
- 庶務係
- 一、場長印及場印保管ニ關スル事項
 - 二、職員備員練習生ノ身分進退服務ニ關スル事項
 - 三、機密ニ關スル事項
 - 四、場内取締ニ關スル事項
 - 五、文書物品ノ收受整理保存ニ關スル事項
 - 六、物品購入、生産物並不用品處分ニ關スル事項
 - 七、經費豫算ニ關スル事項
 - 八、財産管理ニ關スル事項
 - 九、會計整理ニ關スル事項
 - 一〇、他係ニ屬セザル事項

第一章 處務順序

- 第三條 本場ニ到達シタル公文書ハ庶務係ニ於テ之ヲ收受シ文書件名簿ハ記載ノ上場長ノ檢印ヲ受ケ主任者ニ交付スルモノトス但シ親展ノ表記アルモノハ其ノ旨記載シ受信者ニ交付スヘシ
- 第四條 機密文書ハ場長ノ指揮ニ依リ處理スヘシ
- 第五條 事務ハ凡テ場長ノ決裁ヲ經テ之ヲ施行スルモノトス 但シ輕易ナルモノハ首席者若ハ主任者ニ委

任スルコトアルヘシ

- 第六條 主任者擔當事務ヲ處理シタル時ハ係員ニ合議ノ上場長ノ決裁ヲ請フヘシ 但シ場長不在ノ場合ハ主任者其ノ代決ヲ爲シ重要事項ハ場長ノ後閱ヲ受クヘシ
- 第七條 生産物ハ其ノ都度數量ヲ一定ノ帳簿ニ記入シ場長ノ檢印ヲ受クヘシ其ノ賣却又ハ配付スヘキモノ亦同シ
- 第八條 文書ノ決裁ヲ得タル時ニハ直ニ庶務係ニ交付シ庶務係ハ之ヲ清書シ文書件名簿ニ記入シテ發送スヘシ
- 第九條 本場發送文書ハ畜發第何號受文書ニハ畜收第何號ト記入スヘシ
- 第十條 完結シタル文書ハ左ノ二類ニ分チ主任者ニ於テ之ヲ整理シ後日ノ參考ニ便ナラシムルヘシ
 - 第一類 永年
 - 第二類 三ヶ年
- 第十一條 文書ノ編纂ハ曆年會計ニ關スル文書ハ會計年度ニ依リ更新スルモノトス

第三章 服務心得

- 第十二條 職員出勤シタルトキハ出勤簿ニ捺印スヘシ
- 第十三條 職員疾病又ハ事故アリテ出勤シ能ハザル時ハ其ノ事由ヲ記シテ出勤時間迄ニ届出スヘシ若シ疾病ノ爲メ缺勤七日以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添へ届出スヘシ
- 第十四條 職員出勤時間中疾病其ノ他ノ事項ニ依リ外出セムトスルトキハ場長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第十五條 忌服ヲ受ケタルトキハ其ノ親族死亡ノ月日及續柄ヲ記シテ届出スヘシ
- 第十六條 父母ノ墓參病氣看護若クハ轉地療養ノ爲他行セムトスルトキハ其ノ期間及行先地ヲ明記シテ其ノ

事由ヲ具シ場長ニ願出許可ヲ受クヘシ轉地療養ニ係ハルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ
第十七條 休暇ヲ受ケムトスルトキハ場長ノ承認ヲ受クヘシ

休日又ハ執務時間外ニ於テ任地ヲ離レムトスルトキハ其ノ行先ヲ明記シ届出スヘシ賜暇中旅行セムトス
ルトキハ其ノ旅行日數出發歸場ノ期日及行先地ヲ明記シ届出ツヘシ

第十八條 職員出張シタル時ハ歸場後五日以内ニ復命スヘシ但シ事ノ輕易ニ屬スルモノハ口頭ヲ以テ復命ス
ルコトヲ得

第十九條 職員ハ事務ノ繁閑ニ依リ相互補助スヘシ

第二十條 職員退出ノトキハ諸文書ヲ收藏シ所管ノ重要書類ハ宿直員ニ附託スヘシ

第四章 當直心得

第廿一條 當直ヲ分チテ宿直及日直トス

當直ハ技手又ハ主事補一名ヅツ交替勤務スヘシ

第廿二條 宿直時間ハ勤務終了後ヨリ翌日執務時間ノ開始迄トス日直ハ勤務時間限トス

第廿三條 當直中到達シタル文書又ハ物品ハ當直簿ニ記入シ次ノ當直員又ハ庶務係ニ引繼クヘシ 但シ個人
又ハ親展ヲ除ク外披見シ至急ト認ムルモノ若クハ電報ハ直チニ主任者ニ通報シ處分スヘシ

第廿四條 當直員ハ時々場内ヲ巡視シテ其ノ取締ヲ爲シ參觀者ノ案内ノ任ニ當ルヘシ

第廿五條 當直ニ缺勤者アルトキハ逐時次番ヲ以テ勤務シ缺勤者ハ隨時償勤スヘシ

左ノ場合ニ於テハ當直ヲ免除ス

一、新任者ハ就職ノ日ヨリ五日間

二、出張員ハ其ノ前日ヨリ歸場ノ當日迄

第廿六條 場内又ハ附近ニ出火其ノ他非常ノ事故アツタル時ハ當直員ハ直チニ場長及場員ニ急報シ臨機ノ處
置ヲ爲スヘシ

第廿七條 本則ニ規程ナキモノハ福井縣廳中處務細則ヲ準用ス

種豚種禽種卵配付規程

(昭和五年八月一日
縣告示第三三二號)

第一條 種畜場又ハ委託種禽育成所ニ於テ生産シタル種豚、種禽及種卵ハ本規程ニ依リ有償ヲ以テ之ヲ配
付ス

第二條 配付スヘキ種豚、種禽及種卵ノ種類並其ノ價格ハ毎年之ヲ告示ス

第三條 種豚、種禽及種卵ノ配付ハ一人ニ付毎年一回トシ種豚ハ二頭以内種禽ハ十羽以内種卵ハ二十個以
内トス 但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限リニ在ラス

第四條 種豚、種禽又ハ種卵ノ配付ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル別記様式ノ申請書ヲ毎年六
月、十二月各末日迄ニ種畜場長ニ差出スヘシ

一、種豚ニ在リテハ種類、牝牡別配付希望頭數

二、種禽ニ在リテハ種類、雌雄別配付希望羽數及配付ヲ受ケムトスル場所

三、種卵ニ在リテハ種類別配付希望個數及配付ヲ受ケムトスル場所

第五條 種畜場長前條ノ配付ヲ許可シタルトキハ種豚、種禽又ハ種卵ノ種類、性、生年月日、數量、代價
配付場所及配付期限ヲ指定シ申請者ニ通知スヘシ

第六條 前條ノ通知ヲ受ケタル者ハ期限内ニ指定場所ニ代金ヲ納付シテ現品ノ引渡ヲ受クヘシ若シ代金ヲ
納付セス又ハ現品ヲ受取ラサルトキハ種畜場長ハ配付ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第七條 配付ノ許可ヲ受ケタル者ハ種豚、種禽又ハ種卵ノ輸送ヲ請求スルコトヲ得

前項輸送ニ要スル荷送費及運送費ハ申請者ノ負擔トス

輸送中ニ生シタル損害ニ付テハ種畜場長ハ其ノ責ニ任セス 但シ相當ノ事情アル場合ニ於テ種畜場長ハ

亡失又ハ損壞セル種豚、種禽又ハ種卵ノ全部又ハ一部ヲ無償補充スルコトヲ得

第八條 配付ヲ許可シタル後種豚、種禽又ハ種卵ニシテ斃死、廢失、破壞其他ノ事由ニ依リ配付不能トナ

リタルトキハ種畜場長ハ直ニ其ノ許可ヲ取消シ既ニ納付シタル代金又ハ輸送費アルトキハ之ヲ返還スヘ

第九條 配付ヲ受ケタル者ハ如何ナル理由アルモ代金ノ返還若ハ減額又ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十條 配付種豚ノ血統書ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ種畜場長ニ請求スヘシ

第十一條 配付ヲ受ケタル者ハ配付ヲ受ケタル日ヨリ種豚ニ在リテハ二ケ年種禽ニ在リテハ一ケ年飼育ノ義

務アルモノトス

前項期間内ニ種豚、種禽ヲ賣買讓渡セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ種畜場長ノ承認ヲ受クヘシ

斃死若ハ亡失シタルトキ又ハ己ムヲ得サル理由ニ依リ屠殺シタルトキハ十日以内ニ種畜場長ニ届出ツヘ

第十二條 種豚、種禽ノ配付ヲ受ケタル者ハ前條第一項ノ期限内ニ於ケル飼育蕃殖ノ狀況ヲ期間満了後一ケ

月以内ニ種卵ノ配付ヲ受ケタル者ハ其ノ孵化成績ヲ其ノ都度種畜場長ニ報告スヘシ

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

樣 式

種 豚 (種禽、又ハ種卵) 配 付 願

一、何種牝(雌) 又ハ 牡(雄) 何頭(何羽又ハ何頭)

配付場所 種畜場 (又ハ何委託種禽育成所)

右種豚種禽種卵配付規程ヲ遵守可致候條御配付相成度此段相願候也

福井縣立種畜場長宛

福井縣告示第二百四十二號

縣立種畜場及委託種禽育成所ニ於テ配付スヘキ種豚種禽種卵ノ種類並其ノ價格左ノ通り

一、種豚ヨークシャー種

イ、生後六十日 一頭ニ付 甲 金八圓 乙 金五圓

ロ、生後百日 同 甲 金拾圓 乙 金拾圓

ハ、生後百五十日 同 甲 金貳拾五圓 乙 金貳拾圓

ニ、生後二百日以上 同 丙 金參拾圓 乙 金四拾圓 甲 金五拾圓

一種鶏單冠白色レグホン種、名古屋種及三河種

イ、初生雛 一羽ニ付 金拾五錢

ロ、三十日雛 同 金貳拾五錢

ハ、六十日雛 同 金八拾錢

ニ、百日雛 同 甲 金壹圓五拾錢 乙 金壹圓

ホ、成 雞 同

一、種卵單冠白色レグホーン種、名古屋種及三河種
一箇ニ付 金 拾 錢

甲 金參圓五拾錢
乙 金貳圓五拾錢
丙 金貳圓

種牡牛種付規程

- 第一條 本規程ハ國有貸付種牡牛及縣立種畜場ニ於テ飼育スル種牡牛ノ種付ニ之ヲ準用ス
- 第二條 種付ヲ受クヘキ牝牛ノ資格左ノ如シ
- 一、體質強健性質善良ナルモノ
 - 二、年齡十八ヶ月以上
 - 三、体高四尺以上
 - 四、遺傳性及傳染性疾病ナキモノ
- 第三條 種付ハ當該種牡牛ノ飼育場所ニ於テ毎日一回午前八時ヨリ日沒時迄ノ間ニ於テ之ヲ行フ 但シ止ヲ得スニ回行フ場合ハ少クトモ六時間ノ間隙ヲ置クモノトス
- 第四條 種付希望者ハ第一號様式ノ申込書ヲ種付ノ當日種牡牛ノ管理者ニ差出シ種付ヲ受ケムトスル牝牛ヲ種付場所ニ牽付クヘシ
- 不受胎ニ因ル次回以降ノ種付希望者ハ前項ノ申込書ニ前回交付ヲ受ケタル種付證ヲ添付スヘシ
- 第五條 種付ヲ受ケタル牝牛ノ所有者又ハ管理者ハ納入告知書ニ依リ所定ノ種付料ヲ納付スヘシ 但シ受胎セサルカ爲當初種付日ヨリ七十日以内ニ更ニ種付ヲ爲シタル場合ハ之ヲ徵收セス
- 不受胎其他自由ノ如何ニ拘ハラズ既納ノ種付料ハ之ヲ還付セス

第六條 種付料ハ各種牝牛ニ付知事之ヲ定メ告示ス

第七條 種付ヲ受ケタル牝牛ノ所有者又ハ管理者ハ種付ニ依リ生シタル損害ニ對スル賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第八條 國有貸付種牡牛ノ管理者ハ種付シタル牝牛ノ名稱種類年齡体高毛色特徴種付年月日及所有者又ハ管理者ノ住所氏名ヲ翌月三日迄ニ當該郡長ニ報告スヘシ

前項報告書ハ種付回数ヲ記載シ第二回以後ニ在リテハ第一回種付ノ日ヨリ七十日以内ニ爲シタルモノト否トヲ區別シ附記スヘシ

第九條 種牡牛ノ管理者ハ種付シタル牝牛ノ所有者又ハ管理者ニ對シ種付證ヲ交付スヘシ

第十條 種付ヲ爲シタル牝牛ノ所有者又ハ管理者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シタル時ハ事由ノ生シタル日ヨリ十日以内ニ種付當時ノ種牡牛管理者ニ届出ツヘシ第一號ノ場合ニ在リテハ分娩ノ場所月日性毛色及特徴ヲ記載スヘシ

一、分娩シタル時

二、分娩前斃死シタルトキ

三、流産シタルトキ

四、分娩前賣却讓與又ハ交換シタルトキ

第十一條 血統書ノ下付ヲ受ケムトスル者ハ第二號様式ノ請求書ニ種付書ヲ添へ種付當日ノ管理者ニ提出ス

ヘシ 但第十條第一號ノ手續ヲ爲シタル者ニ對シテハ血統書ヲ下付ス

第十二條 種付シタル牝牛及生産セシ牝牛ニ對シテハ検査ヲ行フコトアルヘシ

前項ノ検査場所ハ其ノ都度管理者之ヲ定ム

(第一號様式)

申込書

名稱	種類	生年月	体高	毛色及特徴	備考
----	----	-----	----	-------	----

右種付致度ニ付御許可相成度種付料ハ御指定ノ期日ニ納付可致候也

年 月 日 宛 住所 所有者又ハ管理者 氏 名

(第二號様式)

血統書下付請求書

名 號	性	生年月日	毛色特徴	生産ノ場所	母牛血統
-----	---	------	------	-------	------

右國有(縣有)何々號ノ種付ニ依リ生産シタル者ニ付血統書御下付相成度種付證相添へ請求候也

年 月 日 宛 住所 所有者又ハ管理者 氏 名

福井縣立種畜場候補牝牛拂下規程

- 第一條 畜牛ノ改良増殖獎勵ノ爲メ種畜場生産ノ牝牛ニシテ種牝牛ト爲ルヘキ資質アルモノハ畜産組合、畜産組合聯合會農會又ハ産業組合ニ限リ之ヲ拂下グルモノトス
- 第二條 前條ノ拂下ノ候補種牝牛ニ關スル事項ハ其ノ都度縣報ヲ以テ告示ス
- 第三條 候補種牝牛ノ拂下ヲ受ケムトスル者ハ別記様式ニ依リ種畜場長ニ願出ツヘシ
- 第四條 候補種牝牛ノ拂下價格ハ評價格ノ二分ノ一乃至三分ノ一トシ知事ノ認可ヲ得テ種畜場長之ヲ定ム
- 第五條 候補種牝牛ノ拂下ノ通知ヲ受ケタルモノハ指定期日內ニ代金ヲ納付シ現物ヲ引取ルヘシ
前項ノ手續ヲ爲ササルモノニ對シテハ拂下ヲ取消スコトアルヘシ
- 第六條 候補種牝牛ノ拂下ノ日ヨリ三箇年ハ其區域內ニ於テ種付ニ供用スル義務アルモノトス 但シ特別ノ事由ニ因リ義務年限內ニ於テ之ヲ賣却、交換、讓渡貸付又ハ屠殺セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ種畜場長ノ承認ヲ受クヘシ
種畜場長ハ前項ノ承認ヲ爲スニ付知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 第七條 拂受人前條ノ義務年限內ニ於テ候補種牝牛ニ付盜難、失踪、斃死、撲殺、又ハ種付使用不能ノ事由ヲ生シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ種畜場長ニ届出ツヘシ但シ斃死ノ場合ニ在リテハ獸醫師ノ診斷書又ハ檢案書ヲ添付スヘシ
- 第八條 拂受人前二條ノ義務ヲ果サザルトキハ拂下當時ノ評價價格ヨリ拂下價格ヲ控除シタル金額ノ全部又ハ一部ヲ違約金トシテ徴收スルコトアルベシ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式

候補種牡牛拂下願

一、何種候補種牡牛

何頭右種畜場候補種牡牛拂下規程ヲ遵守可仕候間御拂下相成度此段奉願候也

年 月 日

何郡(市)何々組合(會)長

氏

名

福井縣立種畜場長宛

福井縣委託種禽育成所規程

(昭和五年八月一日) 縣告示第三三三號

第一條 家禽ノ改良蕃殖ヲ圖ル爲本規程ニ依リ委託種禽育成所ヲ設ク委託種禽育成所ノ名稱、位置及管理
者氏名ハ之ヲ告示ス

第二條 委託種禽育成所ニ於テハ左ノ事業ヲ行フ

一、種禽種卵ノ生産配付

二、養雞ニ關スル調査

第三條 本規程ニ於テ管理者ト稱スルハ委託種禽育成所ノ管理者ヲ謂フ

第四條 管理者ニハ豫算範圍内ニ於テ毎年手當金ヲ交付ス

第五條 委託種禽育成所ノ事業ニ要スル原種禽ハ種畜場ヨリ之ヲ貸付シ斃死又ハ更新ヲ要スル場合ハ之ヲ
補充ス

補充ス

第六條 管理者ハ原種禽ノ生産シタル卵ノ半數以上ヲ知事ノ告示シタル價格ヲ以テ種卵又ハ種禽トシテ配
付スベシ

第七條 原種禽ノ受領又ハ返還其ノ他委託種禽育成所ノ事業ニ要スル費用ハ管理者ノ負擔トシ事業ニ伴フ
收入ハ管理者ノ取得トス

第八條 管理者ハ委託種禽育成所ノ事業施行ニ關シテ種畜場長ノ指示ヲ受クルモノトス

第九條 管理者ハ委託種禽育成所ノ門戸ニ様式第一號ニ依ル標札ヲ掲クヘシ

第十條 縣ノ都合ニ依リ管理者ニ對シ其ノ委託ヲ解除スルコトアルモ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十一條 管理者ニシテ不都合ノ行爲アリタルトキ又ハ事業ノ成績不良ナルトキハ委託ヲ解除スルコトアル
ヘシ

前項ノ場合ニ於テ飼育中ノ原種禽ハ之ヲ返還セシメ其ノ故意又ハ過失ニ因リ毀損喪失シタルモノニ付テ
ハ賠償セシムルコトアルヘシ

第十二條 管理者自己ノ都合ニ依リ其ノ管理ヲ辭退シタルトキハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第十三條 管理者ハ其ノ事業ニ直接關係ヲ有セサル事項ニ付育成所ノ名稱ヲ用フルコトヲ得ス

第十四條 管理者ハ様式第二號ニ依ル左ノ帳簿ヲ備ヘ其ノ都度記載スヘシ

一、原種禽臺帳

二、產卵處簿

三、種禽種卵配付簿

第十五條 管理者ハ原種禽ニ付罹病、斃死、盜難又ハ傳染病傳播ノ徵アルトキ其ノ他重要ナル事項ヲ生シタ
トキハ直チニ種畜場長ニ報告スヘシ

前項ノ事項管理者ノ過失ニ基因スト認ムルトキハ其ノ損害ヲ賠償セシムルコトアルヘシ

第十六條 管理者ハ毎月十日迄ニ前月中ニ於ケル事業成績ヲ様式第三條ニ依リ種畜場長ニ報告スヘシ

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

福井縣產卵能力檢定規程

(昭和九年六月十九日)
縣告示第二七一號

- 第一條 鶏ノ產卵能力増進ヲ圖ル目的ヲ以テ福井縣立種畜場ニ於テ產卵能力ノ検査ヲ行フ
- 第二條 本縣内ニ於テ鶏ノ改良蕃殖ニ従事スル者ハ本規程ニ依リ產卵能力ノ檢定ヲ種畜場長ニ出願スルコトヲ得
- 第三條 檢定ヲ受クヘキ鶏ノ種類ハ左ノ二種トス
 - 一 單冠白色レグホーン種
 - 二 名古屋種
- 第四條 檢定ヲ受クヘキ鶏ハ同種類ノ雌鶏五羽ヲ以テ一組トシ左ノ各號ニ該當スルコトヲ要ス
 - 一 種類ノ特徴ヲ具ヘ著シキ缺點ナキモノ
 - 二 孵化後五箇月以上ノモノ
 - 三 發育良好ナルモノ
 - 四 惡癖又ハ疾病ナキモノ
- 第五條 檢定ヲ受ケントスル者ハ別記様式ニ依リ毎年九月十五日迄ニ種畜場長ニ出願シ其ノ承認ヲ受ヘシ前項ノ承認ヲ受ケタル者ハ指定ノ期日ニ檢定ヲ受クヘキ鶏ヲ種畜場ニ搬入スヘシ
- 第六條 檢定ハ毎年十一月一日之ヲ開始シ其ノ期間ハ三百五十日トス但シ種畜場長必要ト認ムルトキハ其ノ期間ヲ三百六十五日ニ延長スルコトアルヘシ
- 第七條 檢定中ト雖モ種畜場長ニ於テ檢定續行ノ必要ナシト認メタルトキハ檢定ヲ中止スルコトアルヘシ
- 第八條 檢定ヲ依頼シタル者ハ左ノ事項ニ關シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス
 - 一 鶏ニ對シ檢定上採リタル處置

二 飼養管理並ニ雄鶏ノ交配

- 第九條 檢定鶏ノ搬入、搬出ニ要スル費用ハ總テ出願者ノ負擔トス
- 第十條 檢定期間中ニ於ケル鶏ノ果實ハ縣ノ所得トス
- 第十一條 檢定ノ爲管理スル鶏ニ付斃死、疾病其ノ他ノ事故ニ依リ損害ヲ生スル事アルモ種畜場長ハ其ノ賠償ノ責ニ任ス
- 第十二條 檢定中ノ鶏ハ種畜場長ノ承認ヲ受クルニ非サレハ賣買、讓渡又ハ搬出スルコトヲ得ス
- 第十三條 檢定ヲ終了シ又ハ中止シタル鶏ハ指定期限内ニ搬出スヘシ前項ノ期限内ニ搬出セザルトキハ種畜場長ハ其ノ飼養管理ノ責ニ任セス
- 第十四條 檢定ノ成績ハ之ヲ出願者ニ通知ス
- 第十五條 種畜場長ハ出願者ノ請求アリタルトキハ成績證明書ヲ交付ス

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
(別記様式)

產卵能力檢定願

一 檢定鶏ノ種類及羽數

右檢定相受度御承認ノ上ハ福井縣產卵能力檢定規程遵守可仕別紙調書相添ヘ此段相願候也

昭和 年 月 日

住 所

氏

名 〇

福井縣立種畜場長殿
檢 定 鶏 調 書

- 一 種 類
- 二 記 號 番 號
- 三 孵 化 年 月 日
- 四 血 統 及 產 卵 能 力

備 考

- 一 調書ハ一羽毎ニ之ヲ作成シ其ノ鶏ニ附シタル記號番號ヲ記載スルコト
- 二 血統及產卵能力ハ明カナル限リ之ヲ記載スルコト

備 員 心 得

- 第一條 備員ハ職員ノ指揮ヲ受ケ懇切丁寧ヲ旨トシ業務ニ從事スヘシ
- 第二條 備員ハ業務始業時間二十分前ニ出勤シ出勤簿ニ捺印スヘシ
- 第三條 備員ハ業務ノ繁閑ニヨリ互ニ相補ケ現員交代ニ宿直スヘシ
- 第四條 備員ハ日曜祭日ト雖モ出勤スルコトヲ得ス 但シ業務ニ差支ナキ限リハ各員ニ對シテ毎月一回隨時指定シテ休暇ヲ與フルモノトス
- 第五條 疾病忌引又ハ事故ノ爲缺勤セムトスルトキハ届出ツヘシ疾病ノ爲缺勤七日以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ノ添付ヲ要ス但シ事故ノ爲缺勤セムトスルトキハ豫メ許可ヲ受クヘシ
- 第六條 備員ハ各自取扱器具機械ヲ丁寧ニ扱ヒ常ニ清淨ナラシメ毀損亡失シタルトキハ其ノ旨係員ニ報告シ指揮ヲ俟ツヘシ
- 第七條 牧手ハ家畜家禽ノ飼養管理ニ注意シ非常事變及動物ニ異常アルヲ認メタルトキハ直ニ係員ニ報告シ指揮ヲ受クヘシ但シ急ヲ要スル場合ハ便宜應急處置ヲ施シ直ニ係員ニ報告スヘシ

- 第八條 農手ハ耕耘及收穫物ノ保存農事ニ關スル一切ニ注意スヘシ
- 第九條 小使ハ場内ノ用ヲ辨シ職員退出後ハ事務室内外ヲ掃除シ戸締火氣ニ注意スヘシ
- 第十條 宿直ノ際ハ場内外及畜舎ヲ巡視シ戸締火氣及ヒ家畜家禽ノ状態ニ注意シ苟モ異常ヲ認ムルニ於テハ其旨場員ニ急報スヘシ
- 第十一條 備員ハ執務時間外ト雖モ場又ハ附近ニ變災アルトキハ速ニ出場スヘシ
- 第十二條 牧手農手ノ就業時間左ノ如シ
但シ場務ノ都合ニ依リテハ幾分ヲ伸縮スルコトアルヘシ

一、牧手就業及休憩時間表

月 別	作業時間	朝食及休憩時間	作業時間	晝食及休憩時間	作業時間
自一月一日	自午前七時	自午前八時卅一分	自午前九時卅一分	自午後零時一分	自午後一時一分
至三月十五日	至同八時三十分	至同九時三十分	至正午十二時	至同	至同
自三月十六日	自同六時三十分	自同八時一分	自午前九時	自同	自同
至四月三十日	至同八時	至同九時	至正午十二時	至同	至同
五 月	自同六時卅分	自同七時卅一分	自午前八時卅一分	自同	自同
至同	至同	至同	至正午十二時	至同	至同
六 月	自同五時卅分	自同七時一分	自午前八時	自同	自同
至同	至同	至同	至正午十二時	至同	至同
七 月	自同五時卅分	自同七時一分	自午前八時	自同	自同
至同	至同	至同	至正午十二時	至同	至同
八 月	自同七時卅分	自同八時卅一分	自午前八時卅一分	自同	自同
至同	至同	至同	至正午十二時	至同	至同
九 月	自同七時卅分	自同八時卅一分	自午前八時卅一分	自同	自同
至同	至同	至同	至正午十二時	至同	至同
十 月	自同六時卅分	自同八時一分	自午前九時	自同	自同
至同	至同	至同	至正午十二時	至同	至同

十一月	自同	七時	自同	八時卅一分	自午前九時卅一分	自同	零時一分	自同	五時一分
十二月	至同	八時卅分	至同	九時三十分	至正午十二時	至同	一時一分	至同	五時一分

二、農手就業及休憩時間表

月別	始業時間	晝食及休憩時間	終業時間
十一月	午前八時	自正午十一時至正午十二時	午後五時
十二月	同	同	同
一月	同	同	同
二月	同	同	同
三月	同	同	同
四月	同	同	同
五月	同上	自正午十一時三十分至正午十二時	同
六月	同上	自正午十二時至正午十二時三十分	同
七月	同	自正午十二時至正午十二時	同上
八月	同	自正午十二時至正午十二時	同上
九月	同	自正午十二時至正午十二時	同上
十月	同上	自正午十二時至正午十二時	同上
十一月	同	自正午十二時至正午十二時	同上
十二月	同	自正午十二時至正午十二時	同上

14:2
574

終